

令和5年度
草加市子ども教育の連携に関する
児童生徒アンケート報告書

令和6年2月
草加市教育委員会

目 次

第 1 部	調査概要	3
1	調査の目的.....	4
2	調査の方法.....	4
3	回答状況.....	4
4	主な調査事項.....	4
5	調査結果について.....	4
6	結果の概要と分析.....	5
7	調査のまとめ.....	10
第 2 部	調査結果	11
1	各設問の調査結果.....	12
第 3 部	資料	37
1	電子回答の内容.....	38

第 1 部 調査概要

1 調査の目的

- (1) 第三次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画の基本理念に掲げる「自己肯定感」「自己有用感」について実態を把握するとともに、取組の進展に伴う変容を明らかにします。
- (2) 子ども教育の連携に係るこれまでの取組が、児童生徒にどのように受け止められているのかを明らかにします。

自己肯定感…「自分は大切な存在だ」と思うことができ、自分に自信をもつことができる心のこと
自己有用感…他人の役に立った、他人に喜んでもらえたなど、社会性の基礎となる心のこと

2 調査の方法

- 【調査対象】 市内の小学校3年生から中学校3年生までの全児童生徒
- 【調査方法】 ① 調査期間中に市立小中学校で学級ごとにアンケートを実施
② 児童生徒は、タブレット端末で電子回答
- 【調査期間】 令和5年6月5日（月）から令和5年6月23日（金）まで

3 回答状況

調査対象		対象者数（件）	回答数（件）	回答率（％）
小学校	3年生	1,910	1,689	88.42％
	4年生	1,994	1,683	84.40％
	5年生	1,983	1,767	89.10％
	6年生	1,915	1,720	89.81％
	小学校計	7,802	6,859	87.91％
中学校	1年生	1,869	1,588	84.96％
	2年生	1,946	1,662	85.40％
	3年生	1,963	1,680	85.58％
	中学校計	5,778	4,930	85.32％
全体合計		13,580	11,789	86.81％

4 主な調査事項

- (1)～(12) 目指す「草加っ子」に関する設問
(13)～(15) 「ふるさと草加学習」に関する設問
(16) 子どもたちの夢や希望に関する設問
(17)～(19) 自己肯定感に関する設問
(20)～(22) 自己有用感に関する設問
(23)～(25) 交流・連携に関する設問
※ (25)は、小学校5・6年生及び中学校1年生のみ対象
※ (1)～(16)及び(23)～(25)は四つの選択肢から、(17)～(22)は五つの選択肢から「自分の考えに一番近いもの」を一つ選んで回答します。詳細は、「第3部 資料」をご覧ください。

5 調査結果について

- (1) 集計結果の回答率（％）は、小数第二位を四捨五入しています。そのため、各選択肢の回答率の合計が、100.0％にならないことがあります。
- (2) 質問文及び選択肢が長い場合、一部省略して表記しています。
- (3) 令和2年度から令和5年度まで、4カ年のグラフを掲載しています。ただし、令和4・5年

度は令和2・3年度と調査方法が異なるため、比較する際はその点に留意してください。

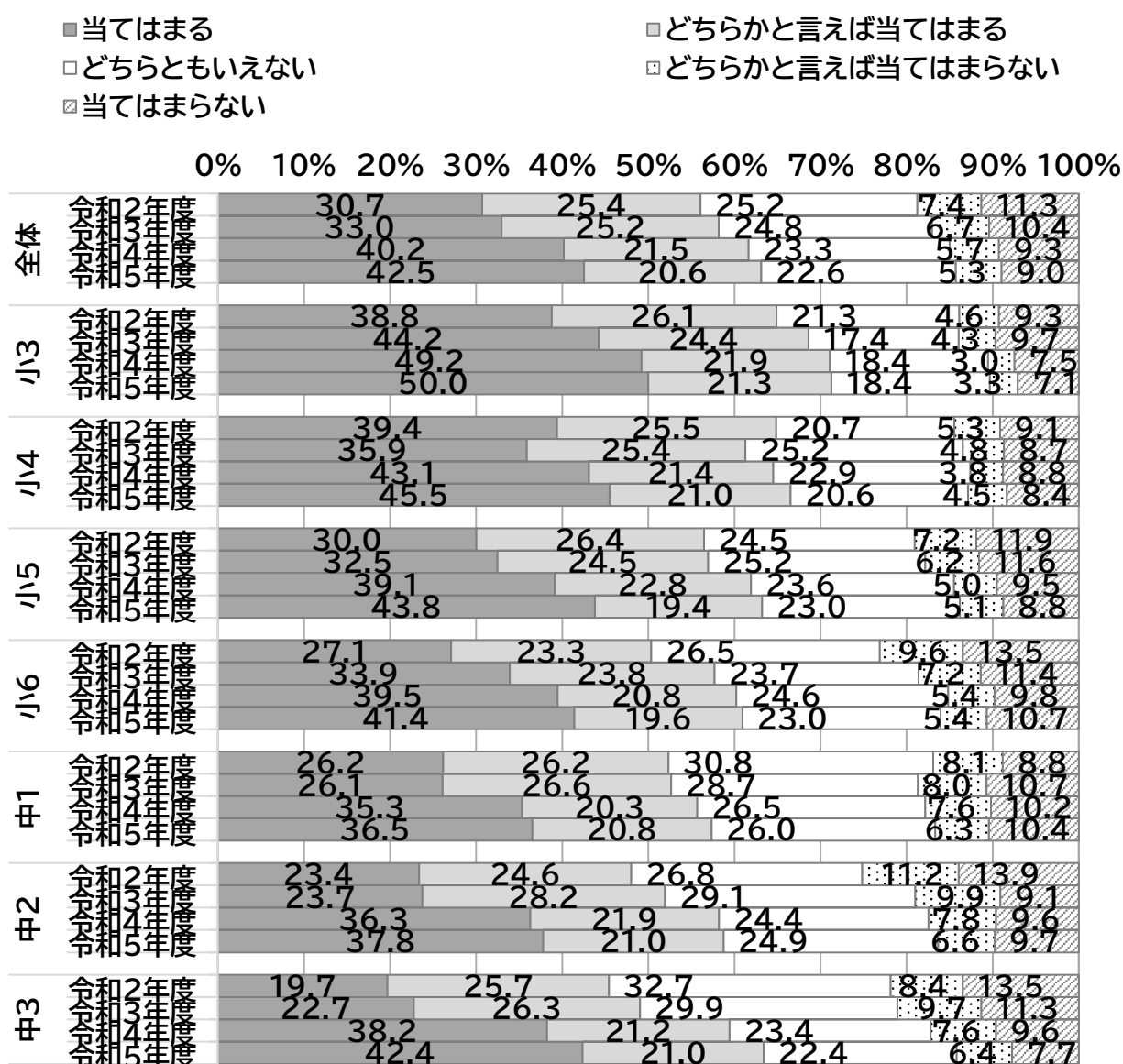
	令和4・5年度	令和2・3年度
調査対象	小学校3年生から中学校3年生まで、 全数調査	小学校3年生から中学校3年生まで、 各校各学年から1学級ずつ抽出調査
回答方法	電子回答システムへ直接入力	紙の調査票へ記入して回収

6 結果の概要と分析

(1) 自己肯定感及び自己有用感

自己肯定感に関する設問（(17)～(19)）と、自己有用感に関する設問（(20)～(22)）の回答について、それぞれ単純集計しました。

自己肯定感



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

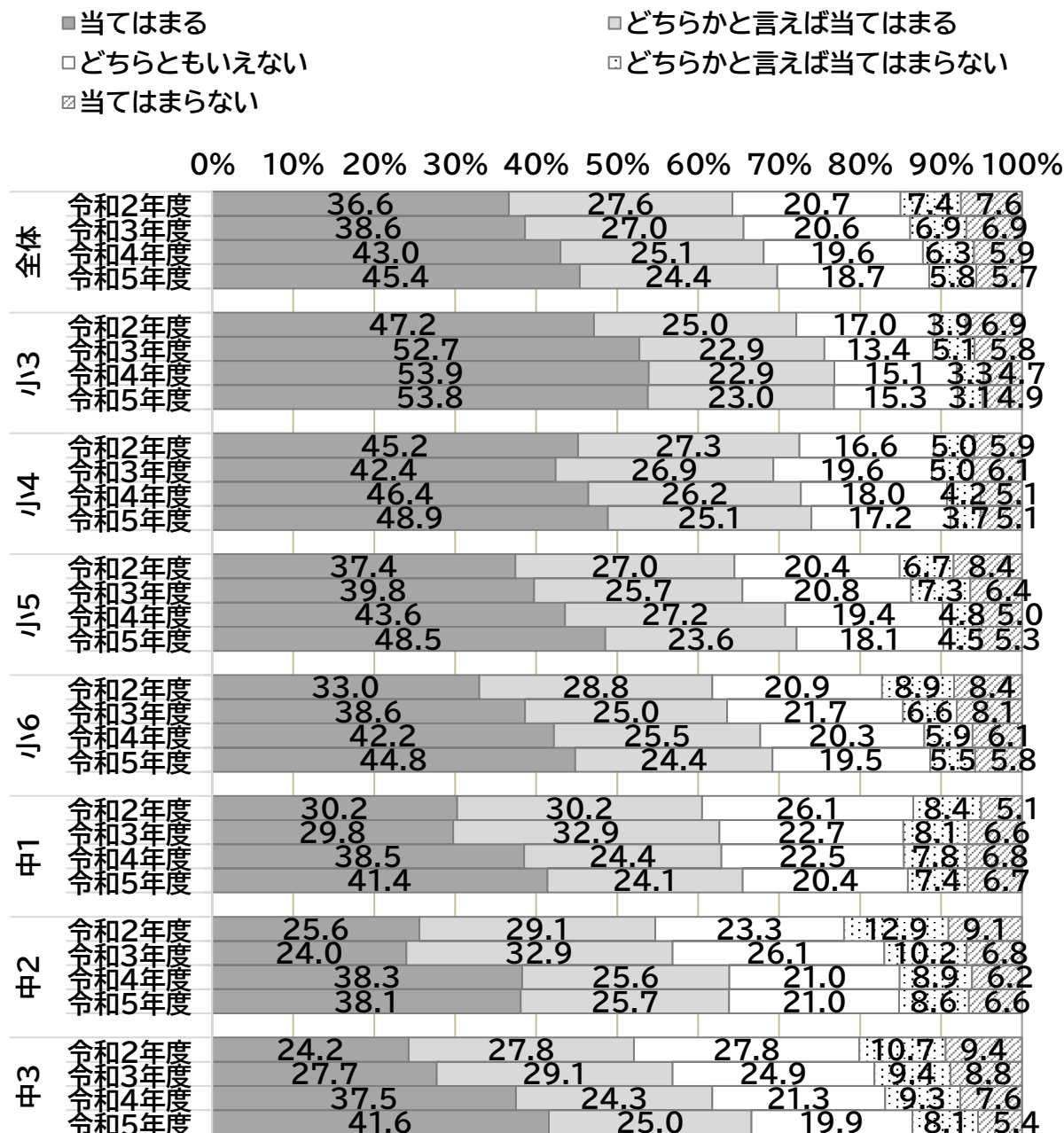
- 全体では、肯定的な回答割合は、63.1%（前年比+1.4ポイント）でした。否定的な回答割合は、14.3%（前年比-0.7ポイント）でした。
- 学年別に見ると、全ての学年で、「当てはまる」の割合が増加しています。以下の要因が推測

できます。

- 対面での交流など制限のない活動が再開されてきて、自己の能力を発揮する場面が増えた。
- 電子回答のため、他者の目を気にせずに回答することができた。

- 一般的に自己肯定感は、学年が上がるにつれて減少する傾向があります。今年度の調査結果は、中学校1年生から中学校3年生まで肯定的な回答割合が増加しており、自分のよさを実感し、自身に存在価値があると感じている児童生徒が増えていると考えられます。

自己有用感

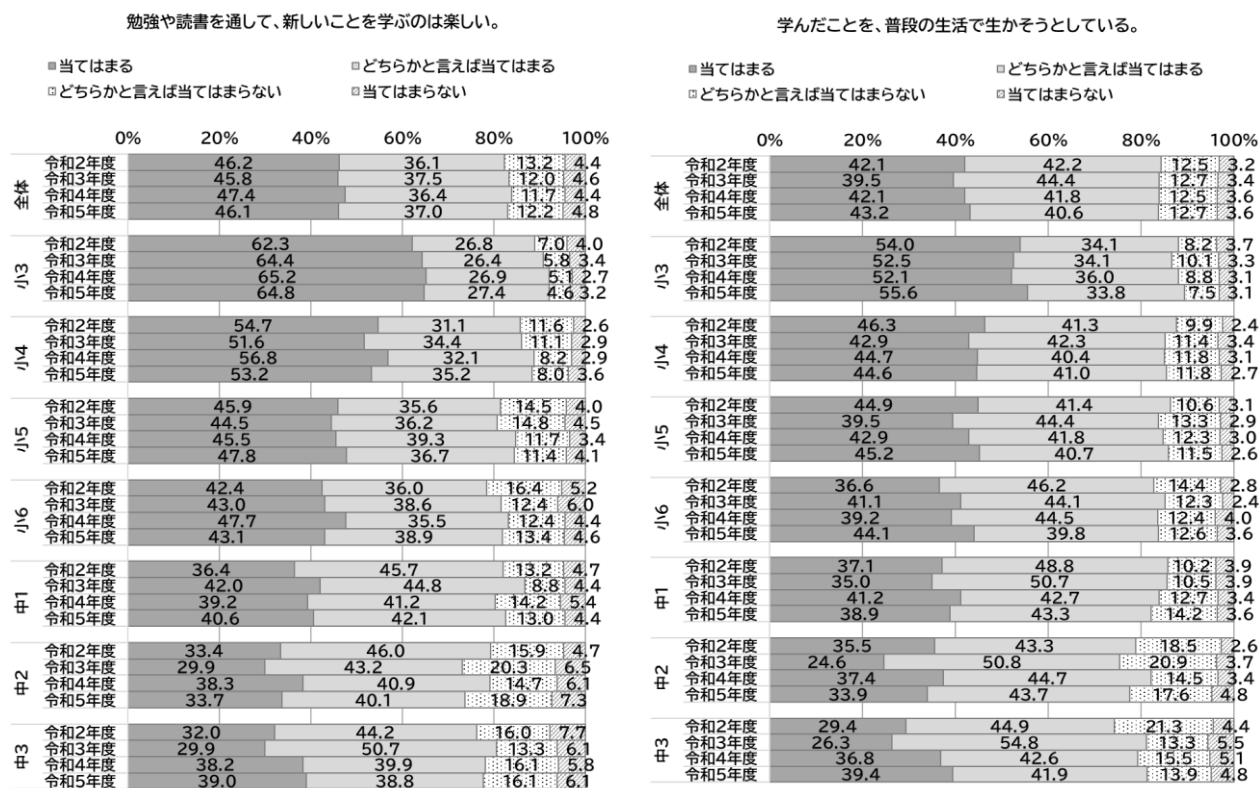


※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答割合は、69.8%（前年比+1.7ポイント）でした。否定的な回答割合は、11.5%（前年比-0.7ポイント）でした。
- 一般的に自己有用感は、学年が上がるにつれて減少する傾向があります。今年度の調査結果では、中学校2年生の肯定的な回答割合はほぼ一定であるものの、中学校1・3年生では増加

しており、人の役に立ったり、周囲の人々から感謝されたりすることを実感している児童生徒が増えていると考えられます。

(2) 自ら学ぶ力

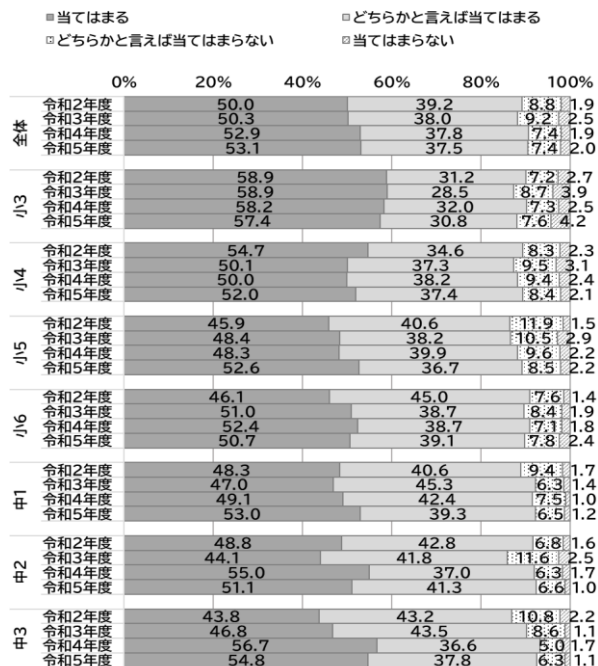


※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

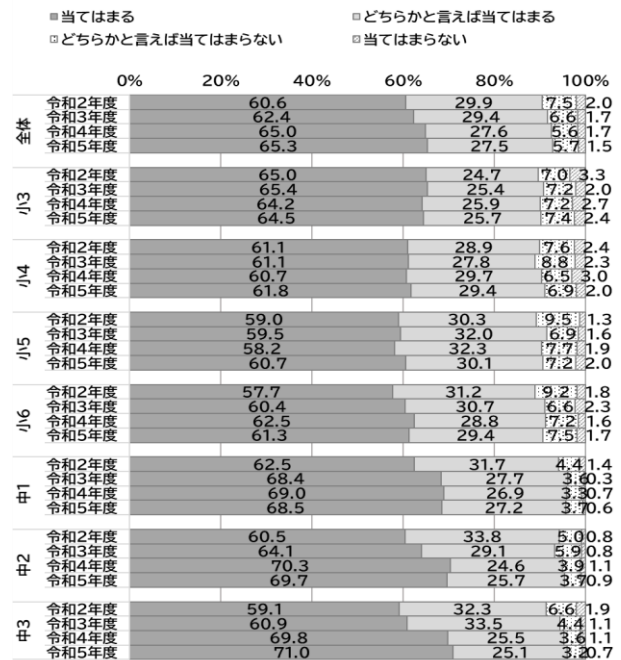
- 全体では、「勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい」の肯定的な回答割合は、ほぼ一定ですが、小学校5年生の「当てはまる」が前年比+2.3ポイントと増加しています。
- 全体では、「学んだことを、普段の生活で生かそうとしている」の肯定的な回答割合は、ほぼ一定ですが、小学校3年生の「当てはまる」が前年比+3.5ポイント、小学校6年生の「当てはまる」が前年比+4.9ポイントと大きく増加しています。
- 両設問とも、肯定的な回答は高い割合で推移しています。今後は、否定的な回答をした児童生徒に、学びの楽しさを感じさせ、学びを活用しようという態度を養うことを意識して日々の授業を充実させていくことが求められます。

(3) 豊かな心・たくましく生きる力

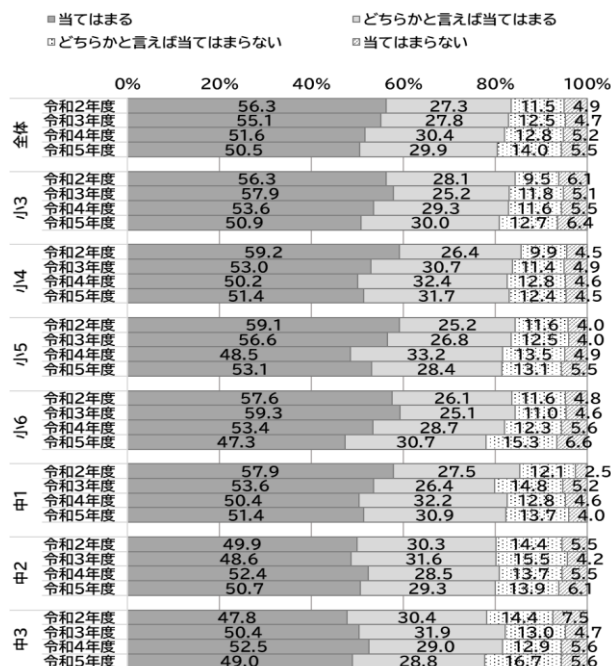
人に迷わくをかけないように、やりたいことでも、がまんできる。



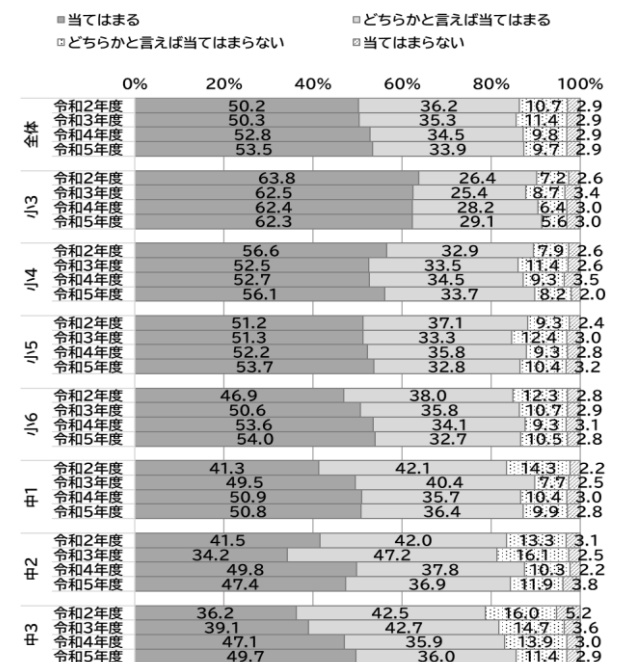
あいさつや返事をしっかりとるようにしている。



ほぼ毎日、早ね早起きをして、朝ごはんを食べている。



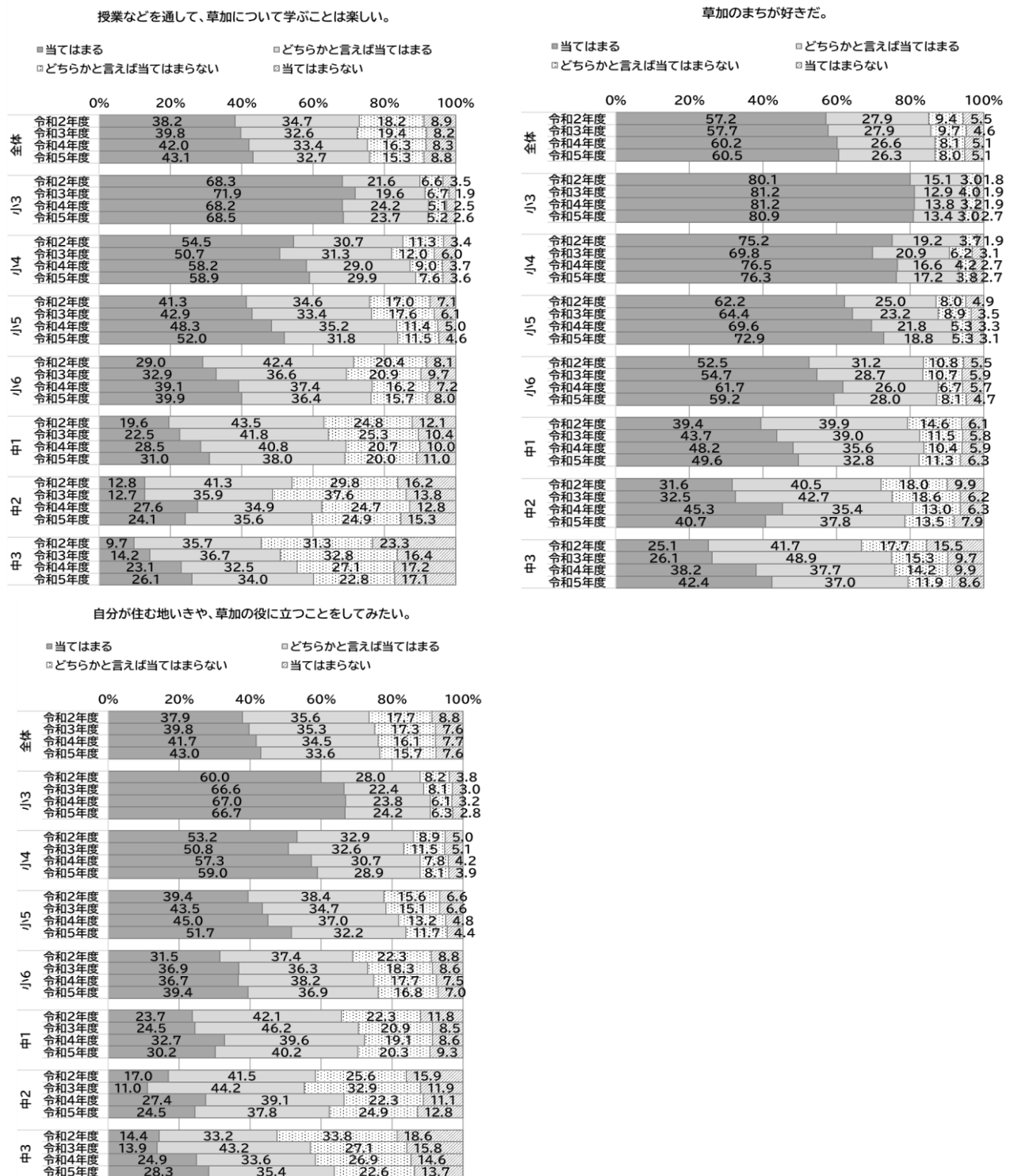
すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、「がまんをすること」の肯定的な回答割合が90.6%（前年比+0.1ポイント）、同じく「あいさつや返事をする事」が92.8%（前年比+0.2ポイント）、同じく「あきらめずにものごとに取り組むこと」が87.4%（前年比+0.1ポイント）と、90%近い割合を維持しています。
- 一方で、「早寝早起き朝ごはん」については、全体を見ると肯定的な回答割合が減少しています。コロナ禍により、児童生徒の家庭生活に悪影響が出ていることが推測できます。
- 生活リズムの乱れは、長期的に児童生徒の育ちに様々な悪影響を及ぼすと考えられます。今後は、家庭とも連携しながら、生活習慣の改善を図っていくことが一層重要です。

(4) ふるさと草加学習



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、「草加について学ぶことは楽しい」の肯定的な回答割合が75.8%（前年比+0.4ポイント）、同じく「草加のまちが好きだ」が86.8%（前年比±0ポイント）、同じく「草加の役に立つことをしてみたい」が76.6%（前年比+0.4%）と、どの設問も前年に続き、75%を超えました。
- 児童生徒が草加のよさを知り、愛着と誇りをもつことは、自己有用感の育成と関係します。各学校では、児童生徒の実態と地域の実情に応じて、地域と連携を図りながら、引き続き「ふるさと草加学習」を充実させていくことが重要です。

(5) 自己肯定感・自己有用感と相関関係がある設問

平成28年度に実施した調査について行った相関分析の結果から、「自己肯定感」及び「自己有用感」と相関があるのは、次の設問であることが分かりました。また、令和4年度に行った相関分析でも同様の傾向がみられることが分かりました。

設問	相関の有無	
	肯定感	有用感
(3) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。		有
(4) 自分の気持ちや考えを、相手に伝えるようにしている。	有	有
(11) めあてや目標をもって運動に取り組んでいる。※	有	
(12) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。	有	有

※ 令和2年度以降の質問は、「めあてや目標をもって学習や運動に取り組んでいる。」

7 調査のまとめ

(1) 自己肯定感・自己有用感や目指す「草加っ子」は、着実に育まれていることが分かりました。

小学校では肯定的な回答割合を高いまま維持しており、中学校では特に1・3年生の肯定的な回答割合が大きく増加しています。幼児期の教育から中学校教育まで積み上げていく草加の教育の特色が現れています。

(2) 「早寝早起き朝ごはん」など、生活リズムの乱れが伺えます。家庭との連携を図り、家庭の教育力向上に取り組むことが一層重要です。

(3) 自己肯定感・自己有用感を育成するために、児童生徒が、

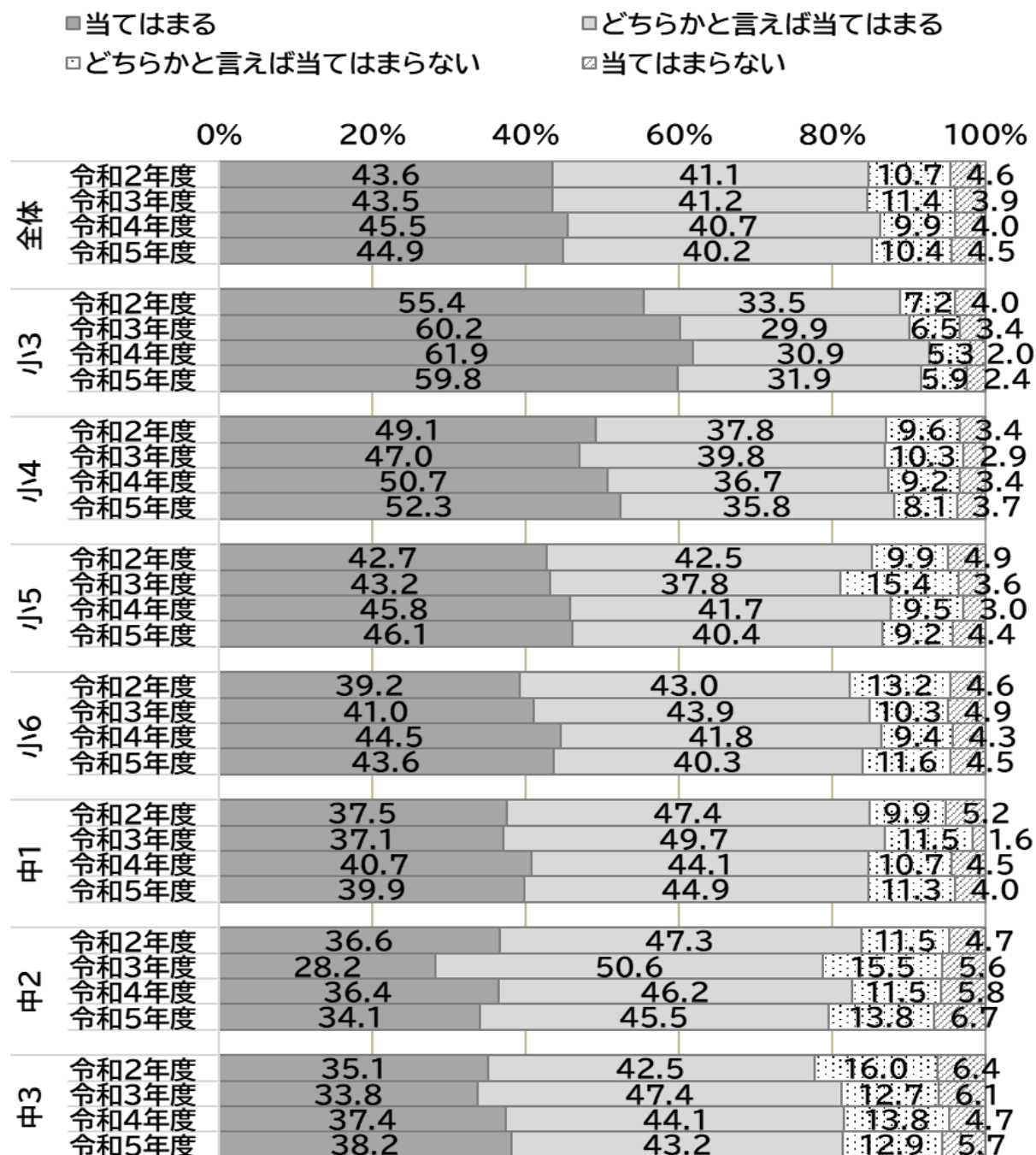
- ① 自分の気持ちや考えを、相手に伝える
- ② めあてや目標をもって学習や運動に取り組む
- ③ すぐにあきらめずに、ものごとに取り組む

ことができるよう、授業や学校行事等で他の人との関わりを深める教育活動を充実させていくことが重要です。

第2部 調査結果

1 各設問の調査結果

(1) 勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。

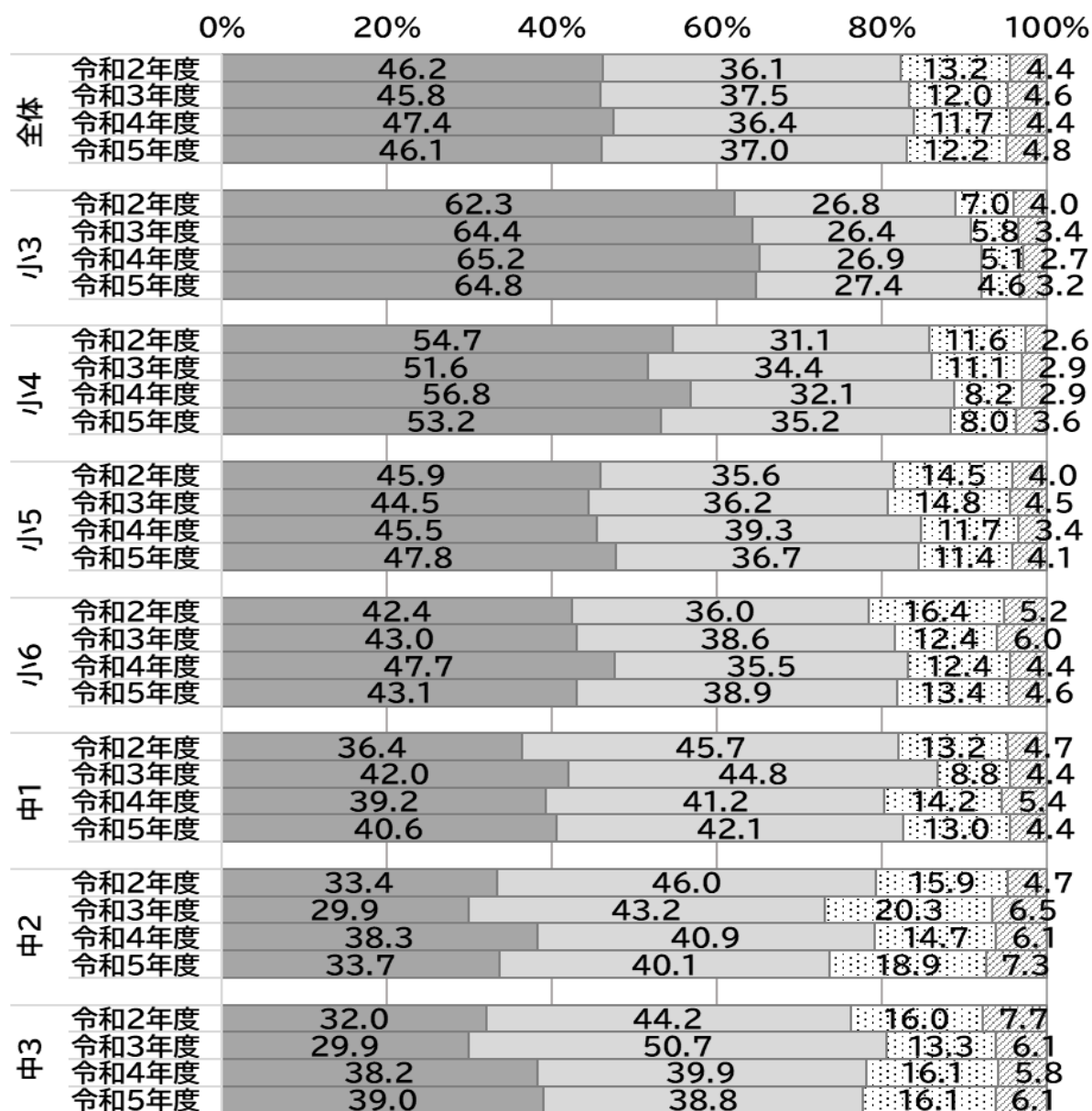


※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、85.1%（前年比－1.1ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、14.9%（前年度比＋1.0ポイント）でした。
- 学年別では、小学校3・4年生の「当てはまる」の割合が前年度に続き、50%を超えました。

(2) 勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。

- ☐ 当てはまる
 ☐ どちらかと言えば当てはまる
☐ どちらかと言えば当てはまらない
 ☐ 当てはまらない

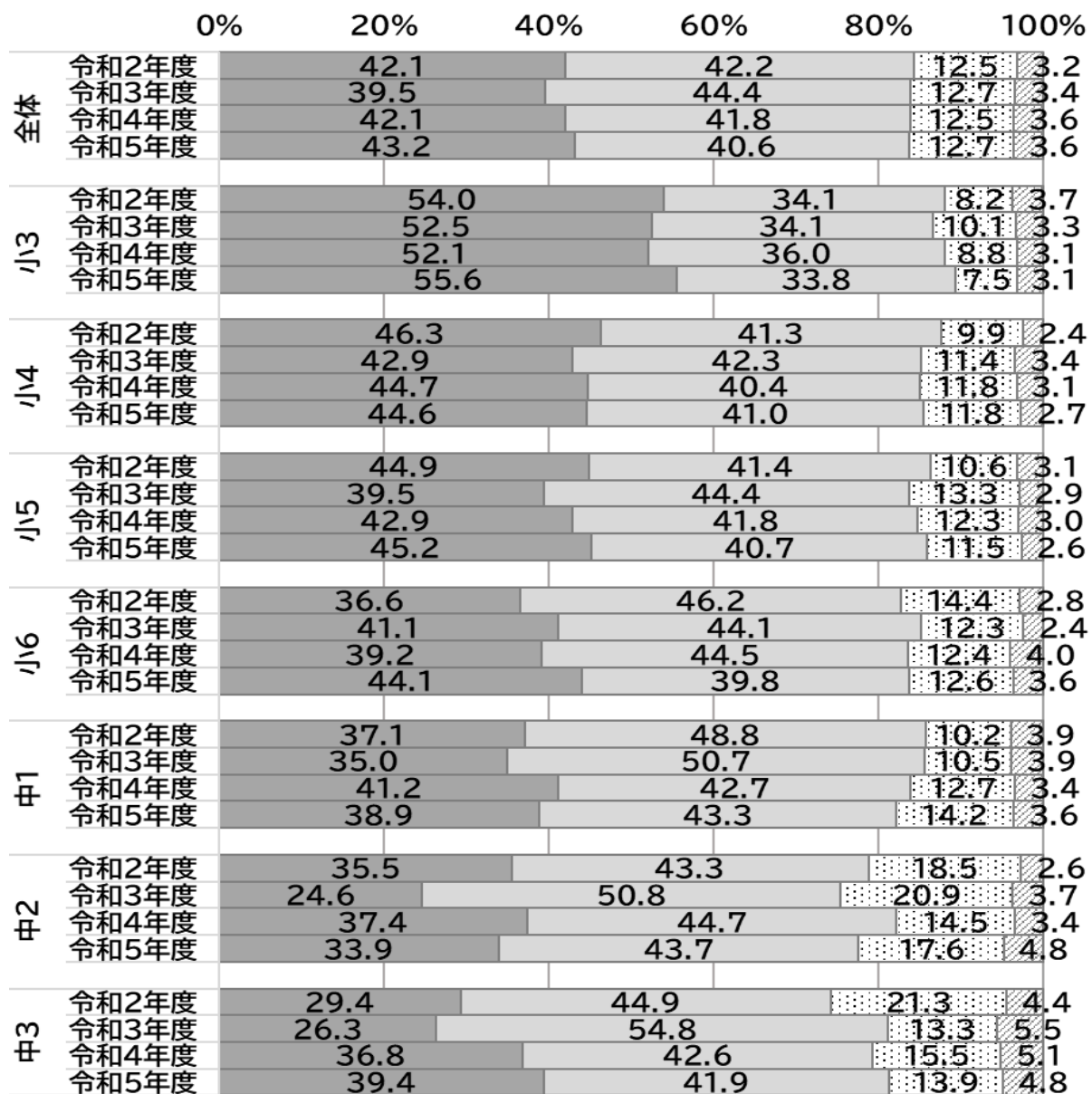


※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、83.1%（前年比-0.7ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、17.0%（前年度比+0.9ポイント）でした。
- 学年別では、どの学年においても増減しつつも同程度の水準を保って推移しています。

(3) 学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。

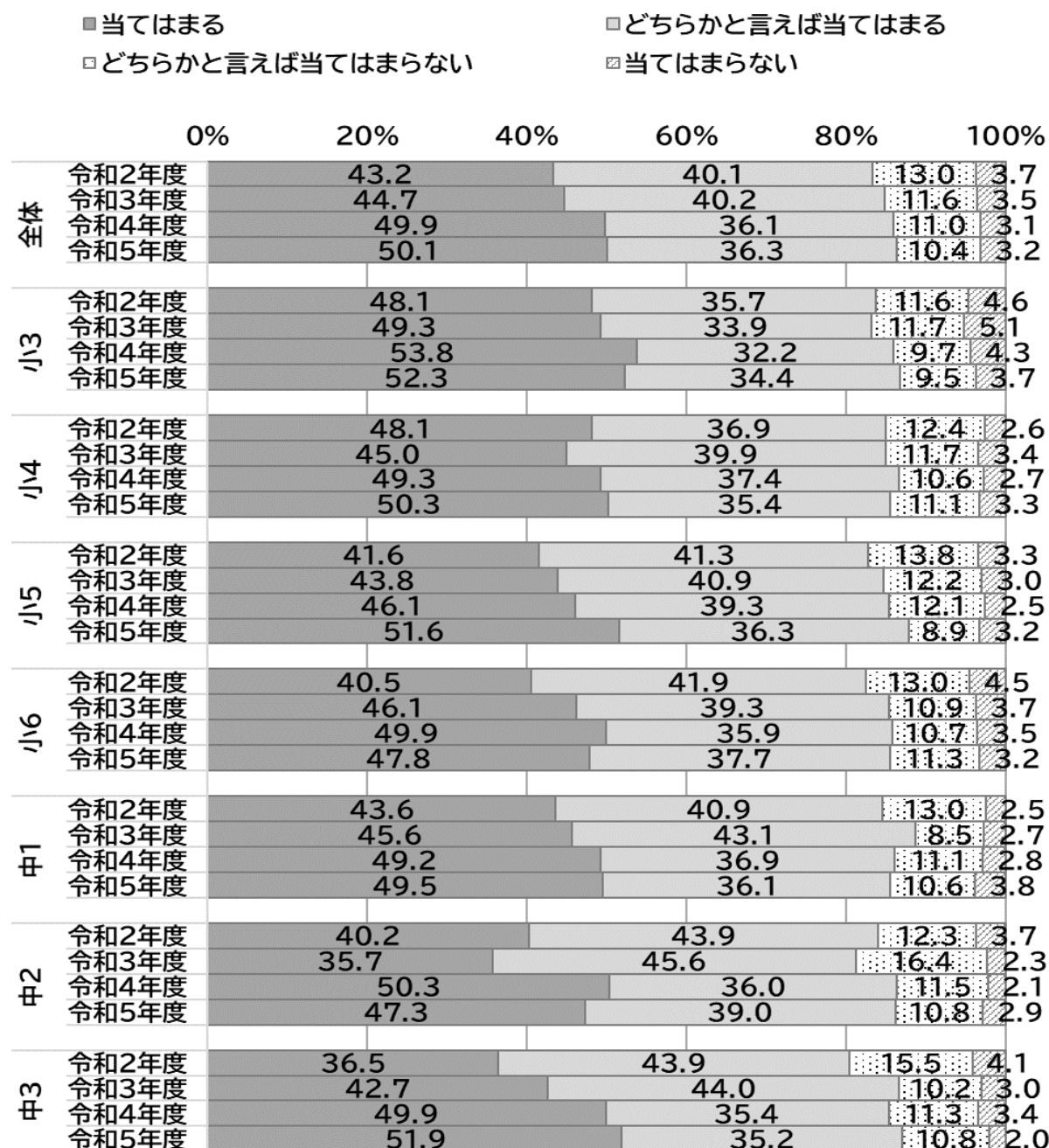
- ☐ 当てはまる
 ☐ どちらかと言えば当てはまる
☐ どちらかと言えば当てはまらない
 ☐ 当てはまらない



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、83.8%（前年比－0.1ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、16.3%（前年度比＋0.2ポイント）でした。
- 学年別では、特に小学校3・6年生の「当てはまる」が、それぞれ前年比＋3.5ポイント、＋4.9ポイントと大きく増加しました。

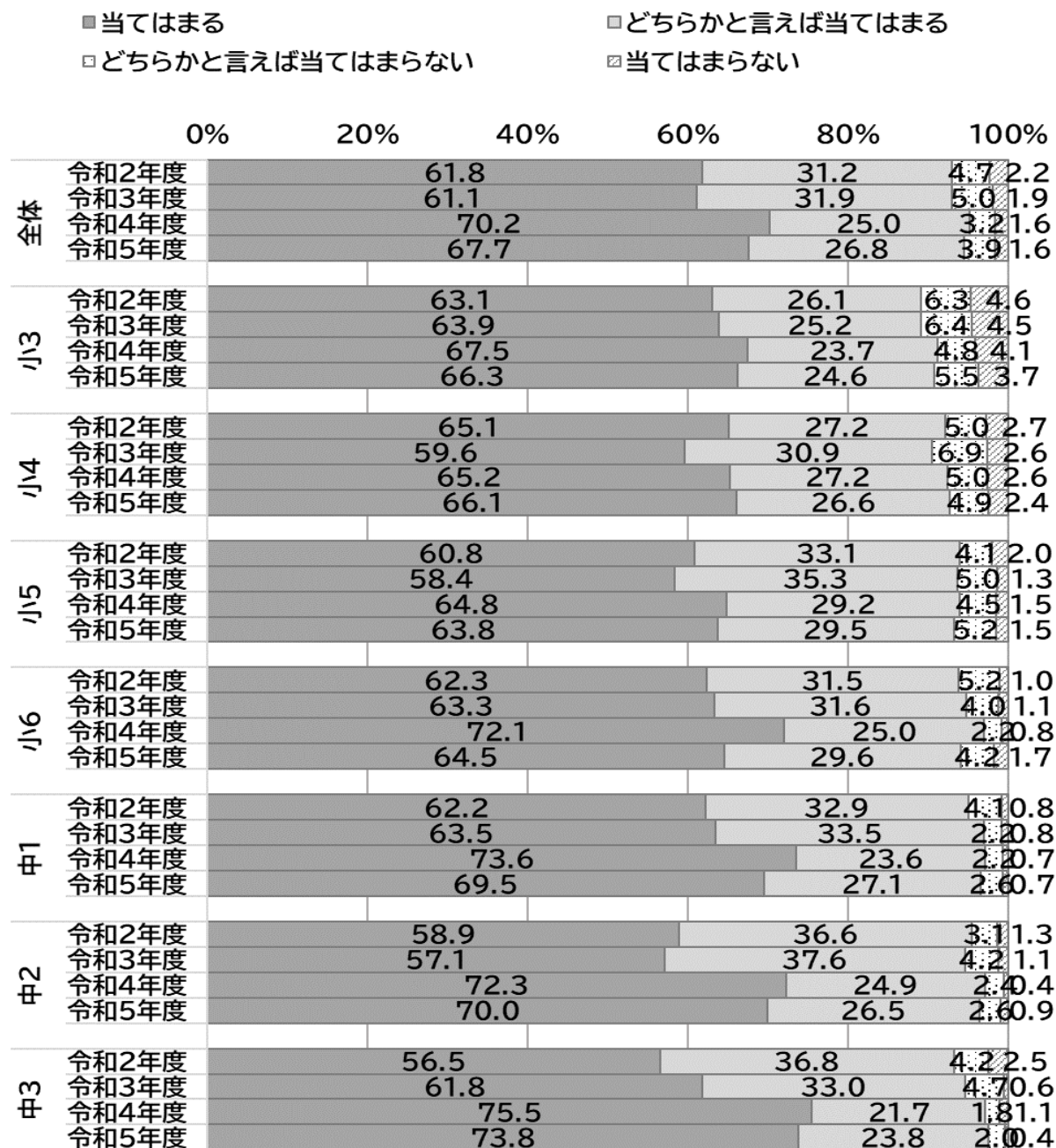
(4) 自分の気持ちや考えを、相手に伝えるようにしている。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、86.4%（前年比+0.4ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、13.6%（前年度比-0.5ポイント）でした。
- 学年別では、特に小学校5年生の「当てはまる」が前年比+5.5ポイントと大きく増加しました。
- 令和2年度から全体的に肯定的な回答は増加傾向です。対面での交流活動が戻りつつあることが要因として考えられます。

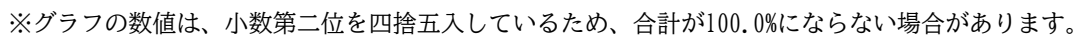
(5) いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

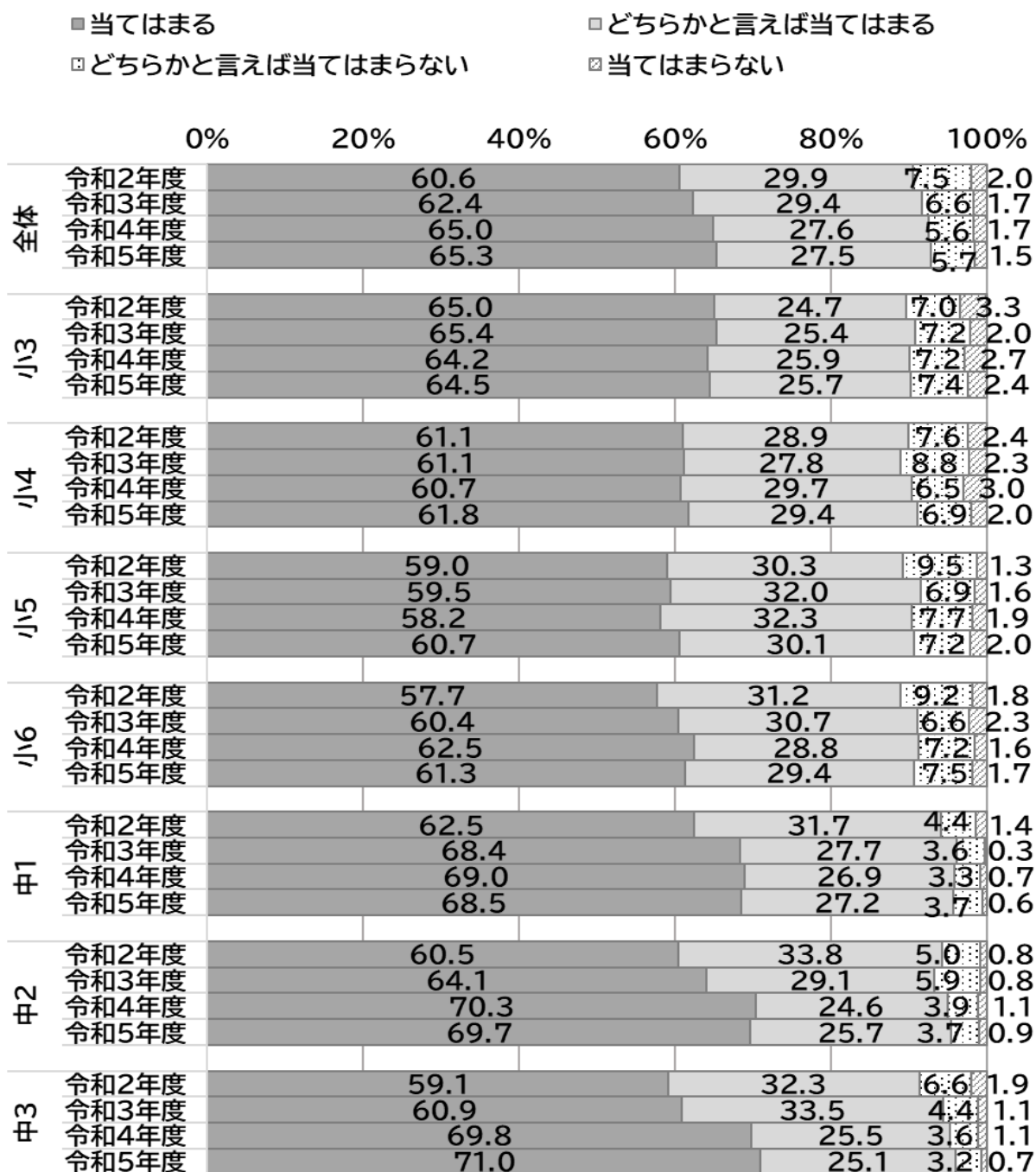
- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、94.5%（前年比－0.7ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、5.5%（前年度比＋0.7ポイント）でした。
- 昨年度に続き、全ての学年で肯定的な回答の割合が90%を超えました。
- 高い割合を維持している要因としては、各学校でのいじめ撲滅に関する継続した取組の充実や草加市いじめ撲滅サミットの開催が考えられます。

☐ 当てはまる
 ☐ どちらかと言えば当てはまる
☒ どちらかと言えば当てはまらない
 ☒ 当てはまらない



- 17

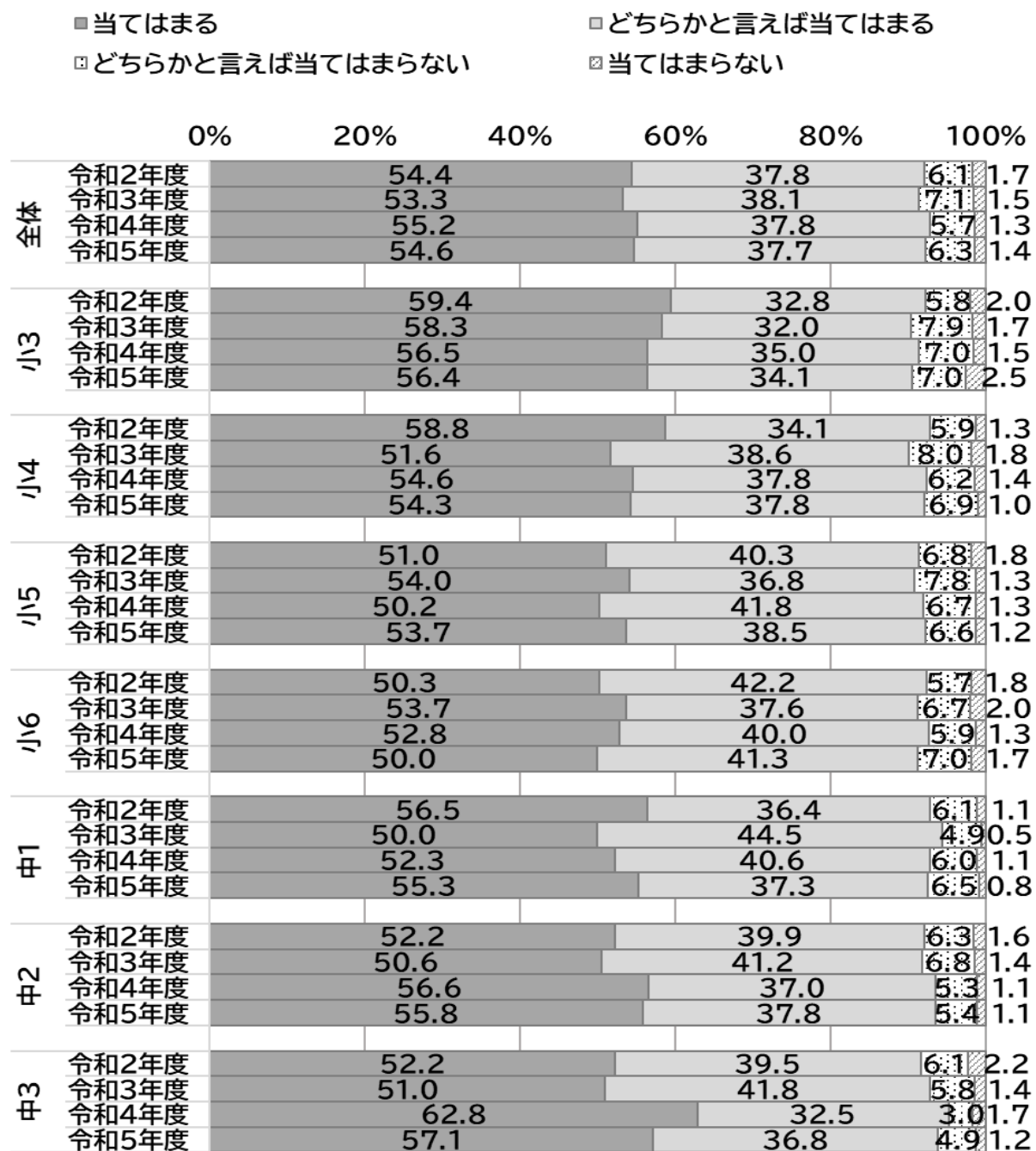
(7) あいさつや返事をしっかりとるようにしている。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、92.8%（前年比+0.2ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、7.2%（前年度比-0.1ポイント）でした。
- 昨年度に続き、全ての学年で肯定的な回答の割合が90%を超えました。特に小学校5年生の「当てはまる」が、それぞれ前年比+2.5ポイント増加しました。中学校では令和2年度から比較して「当てはまる」が大きく増加しました。

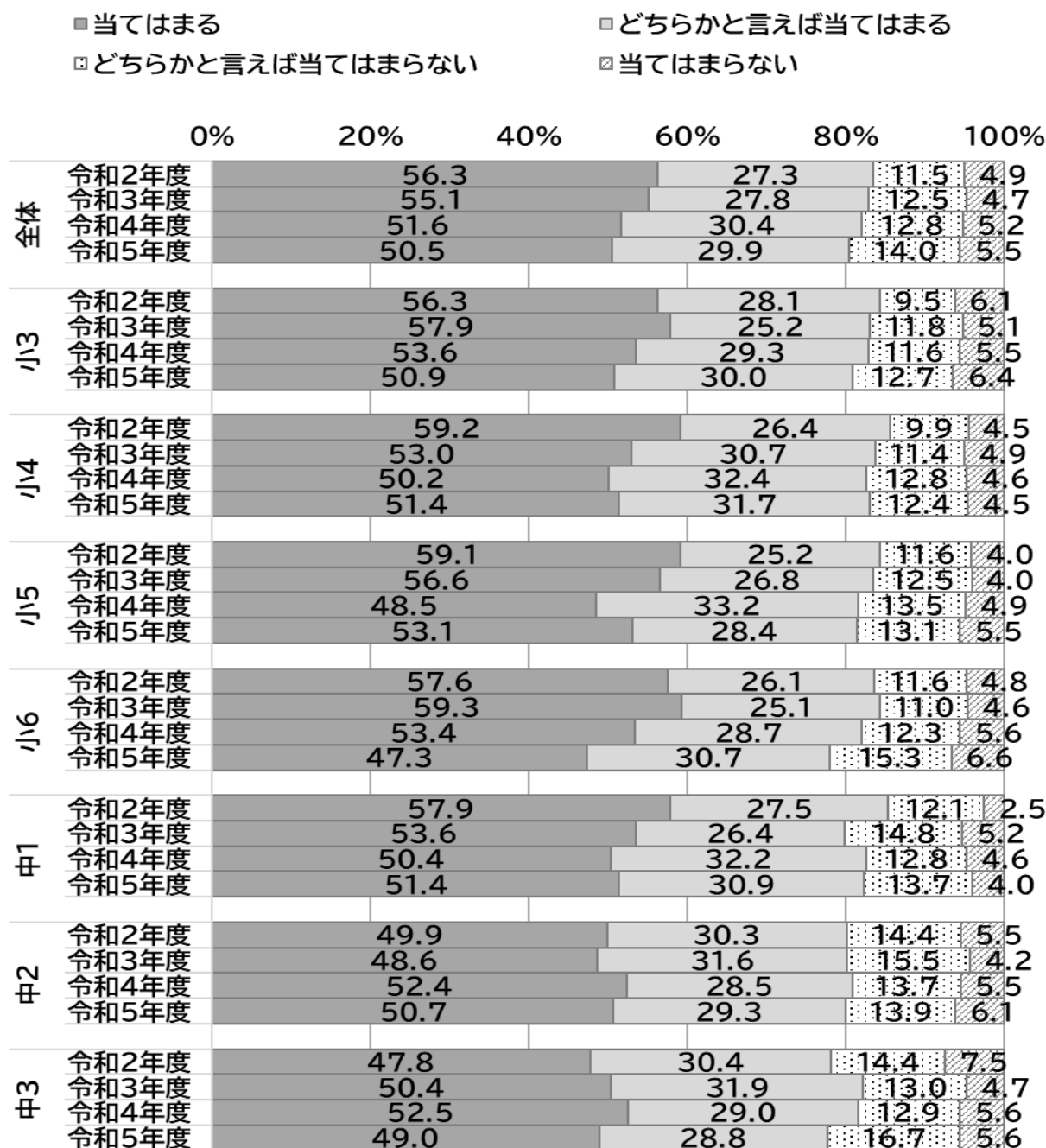
(8) 学校のきまりや、家の約束を守ることができる。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、92.3%（前年比－0.7ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、7.7%（前年度比＋0.7ポイント）でした。
- 昨年度に続き、全ての学年で肯定的な回答の割合が90%を超えました。どの学年も増減しつつも、令和2年度から高い水準を保っています。

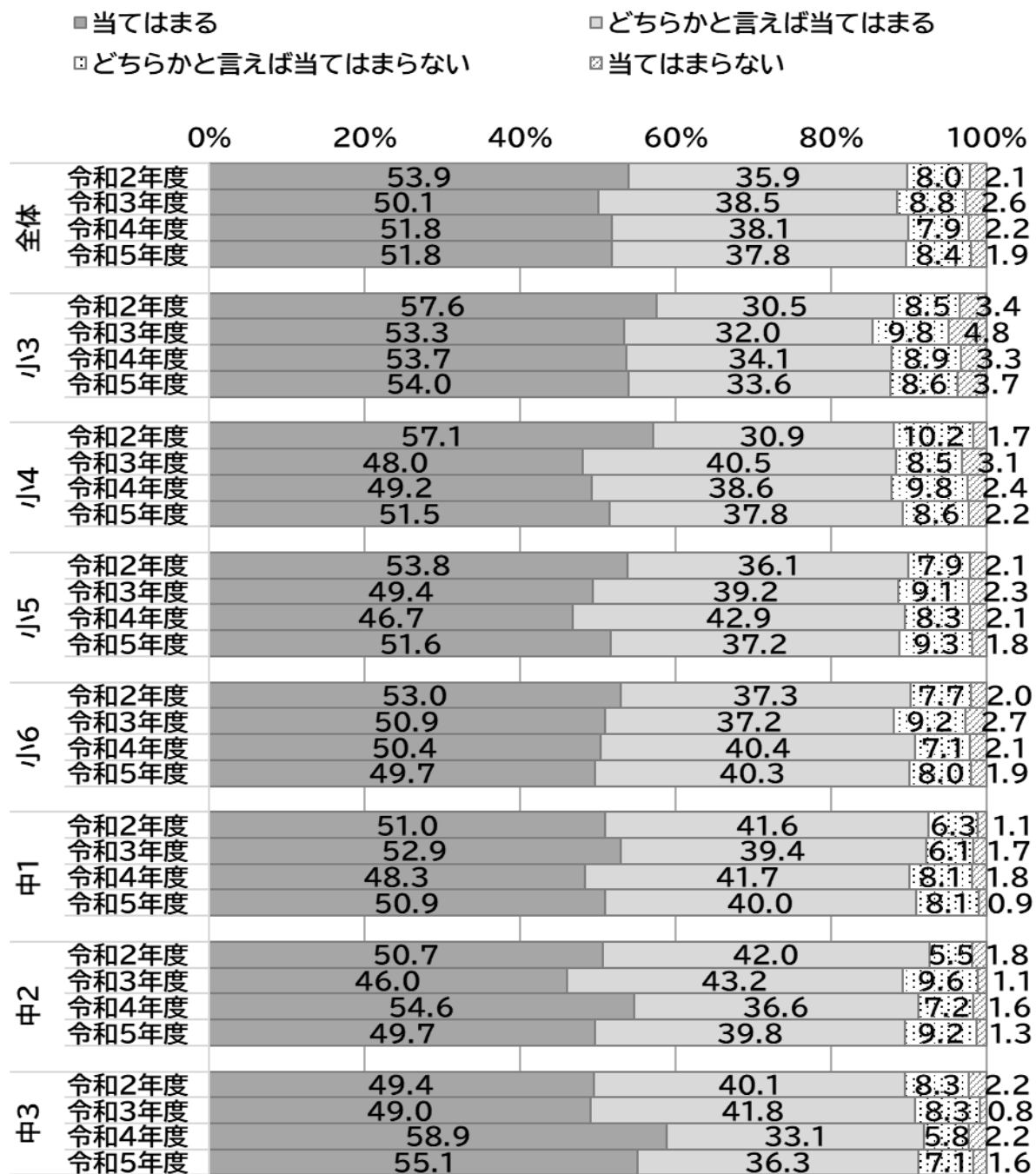
(9) ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、80.4%（前年比－1.6ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、19.5%（前年度比＋1.5ポイント）でした。全体的に、下降傾向が見られます。
- 学年別では、特に小学校6年生の「当てはまる」の割合が前年比－6.1ポイントと大幅に減少しました。
- 減少の要因としては、コロナ禍の影響により、放課後や休日の家庭生活のリズムが崩れてきていることが推測されます。

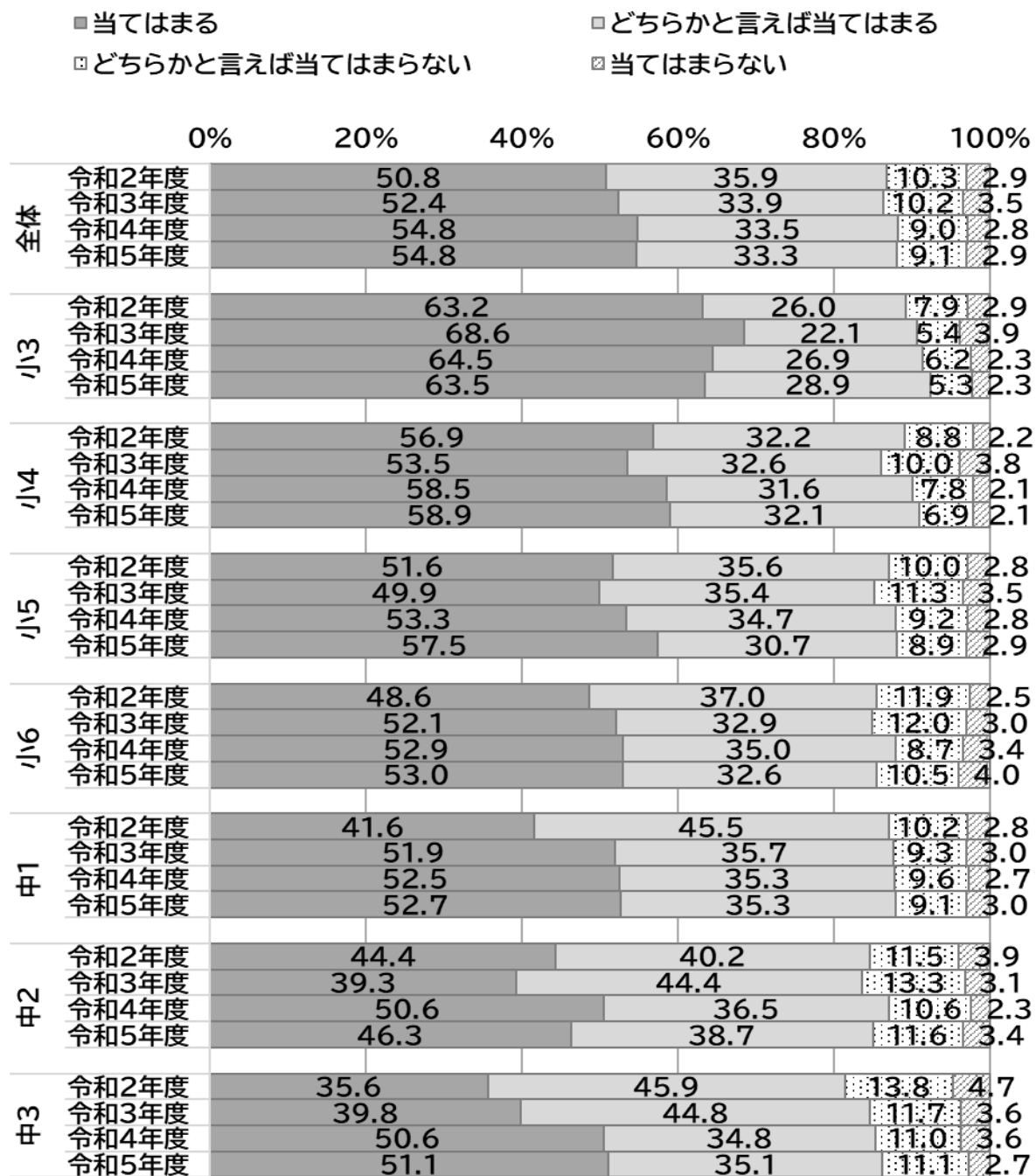
(10) 決められた時間を守ることができる。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、89.6%（前年比-0.3ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、10.3%（前年度比+0.2ポイント）でした。
- 学年別では、特に4年間の推移で中学校3年生の「当てはまる」の割合が、大きく増加しました。

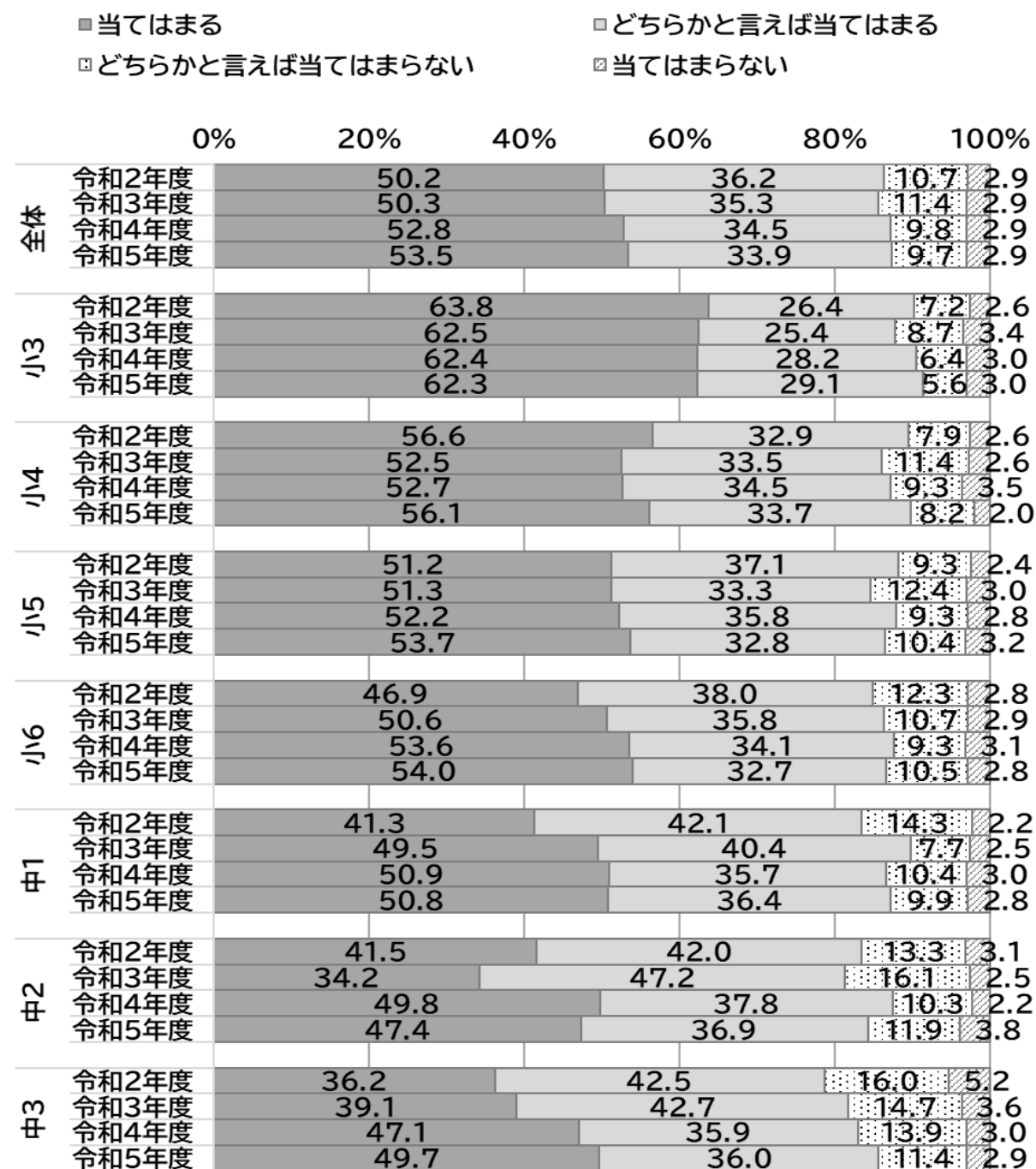
(11) めあてや目標をもって学習や運動に取り組んでいる。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、88.1%（前年比-0.2ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、12.0%（前年度比+0.2ポイント）でした。
- 学年別では、特に中学校3年生の「当てはまる」の割合が、令和2年度から比較して+15.5ポイントと大きく増加しました。

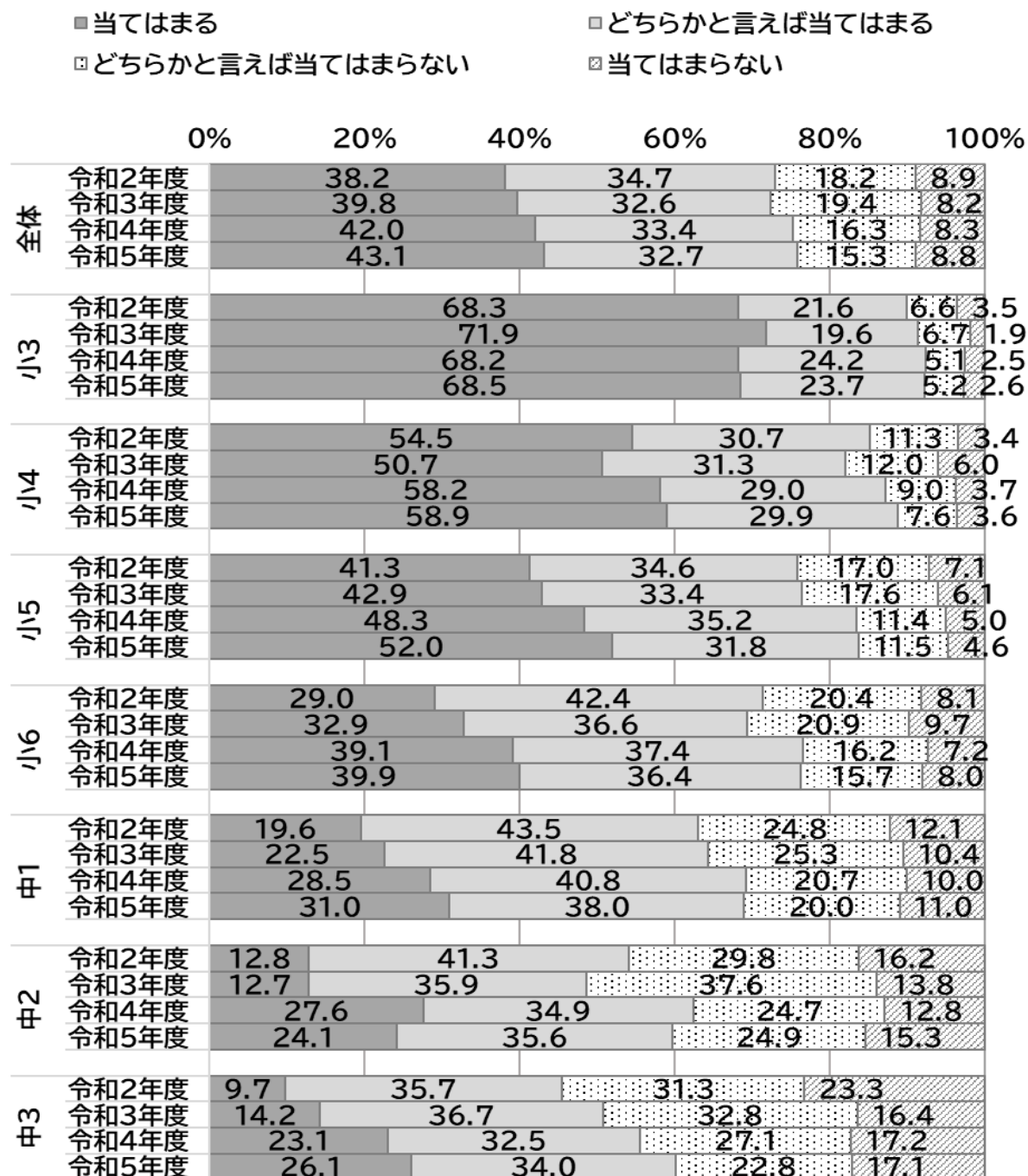
(12) すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、87.4%（前年比+0.1ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、12.6%（前年度比-0.1ポイント）でした。
- 学年別では、特に小学校4年生の「当てはまる」の割合が、前年比+3.4ポイントと大きく増加しました。
- また、中学校3年生の「当てはまる」の割合が、令和2年度から年を追うごとに着実に増加しています。

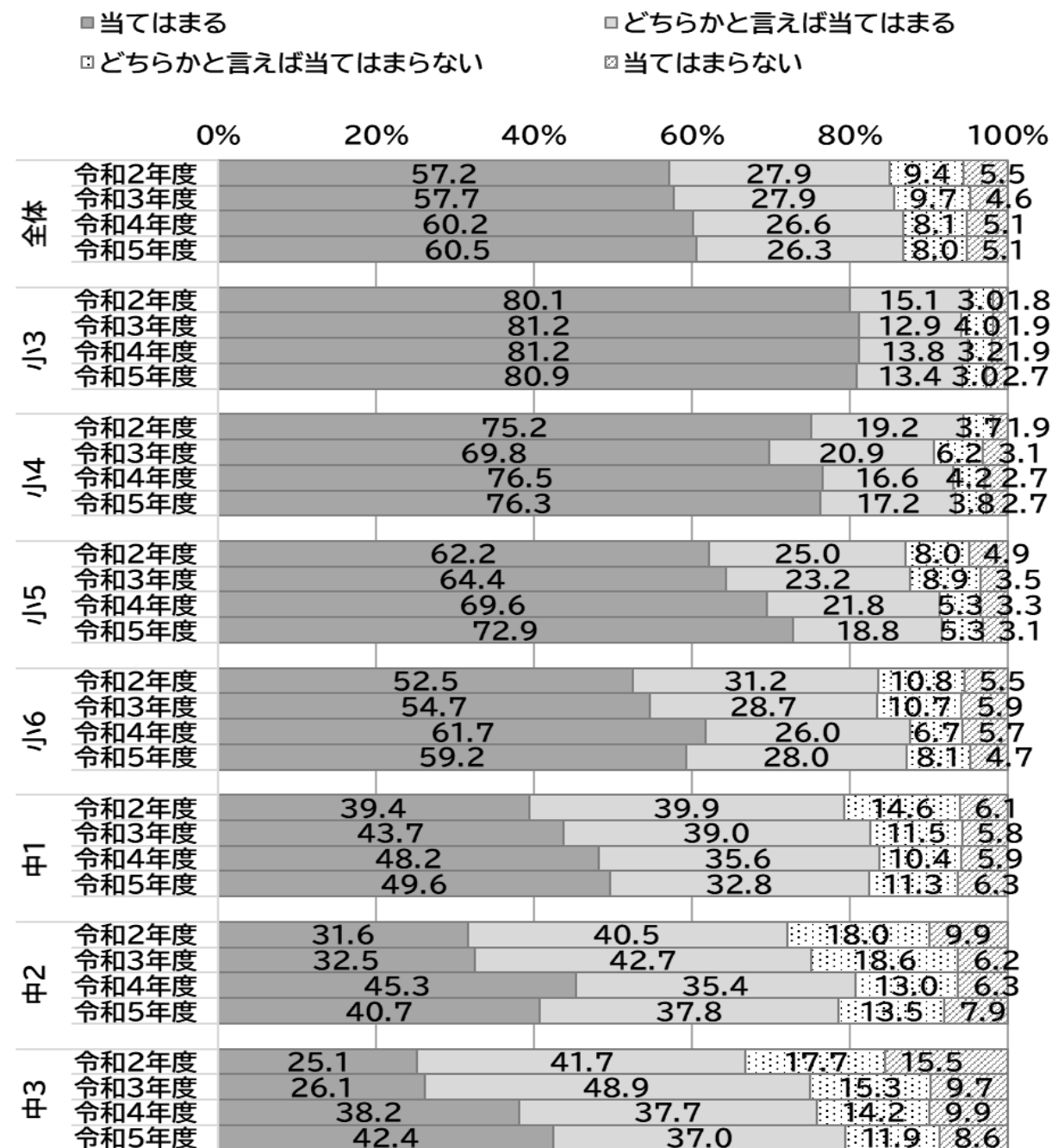
(13) 授業などを通して、草加について学ぶことは楽しい。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、75.8%（前年比+0.4ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、24.1%（前年度比-0.5ポイント）でした。
- 学年別では、特に小学校5年生、中学校3年生の「当てはまる」の割合が、それぞれ前年比+3.7ポイント、+3.0ポイントと大きく増加しました。
- 増加の要因としては、草加を題材にして探究的な学習の視点に立った授業改善に取り組んでいること等が考えられます。

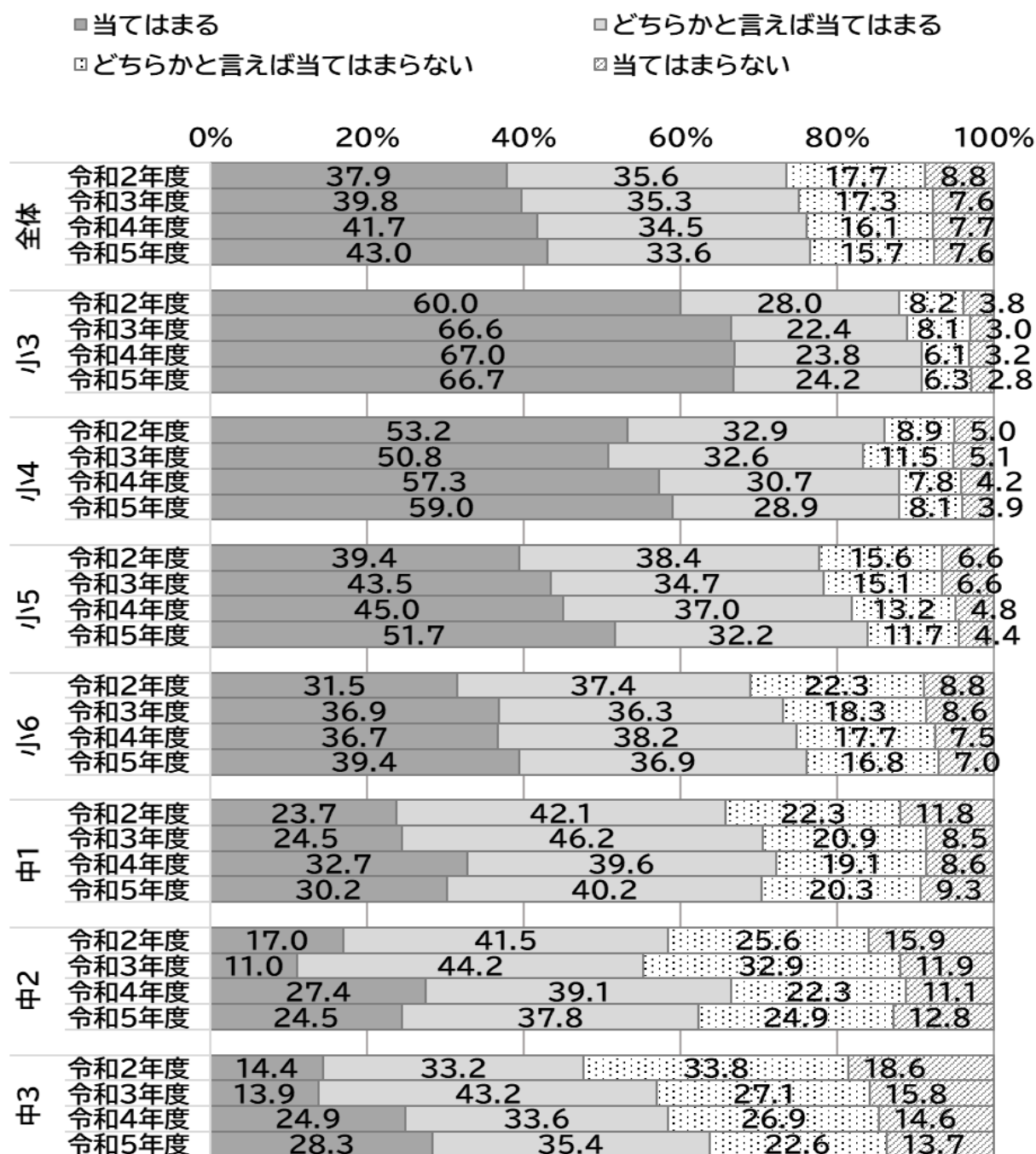
(14) 草加のまちが好きだ。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、86.8%（前年比±0ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、13.1%（前年度比－0.1ポイント）でした。
- 学年別では、特に小学校高学年、中学校全学年で令和2年度から比較して上昇傾向となっています。
- ふるさと草加学習の充実に伴い、草加のよさを知り、愛着や誇りを感じている児童生徒が増えている様子が伺えます。

(15) 自分が住む地域や、草加の役に立つことをしてみたい。

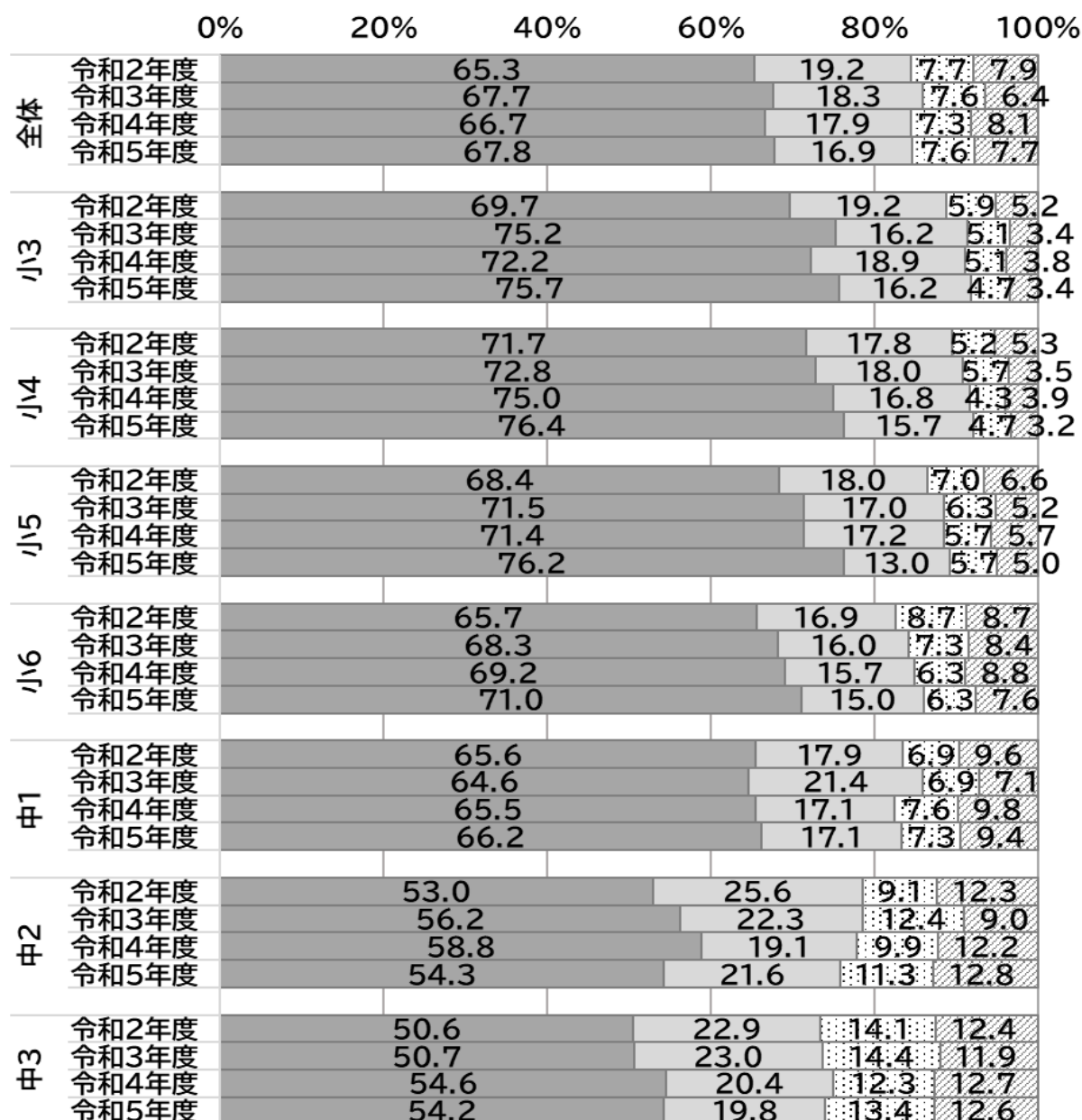


※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、76.6%（前年比+0.4ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、23.3%（前年度比-0.5ポイント）でした。
- 学年別では、特に小学校5年生、中学校3年生の「当てはまる」の割合が、それぞれ前年比+6.7ポイント、+3.4ポイントと大きく増加しました。
- ふるさと草加学習の充実に伴い、草加の役に立つことをしてみたいという思いをもつ児童生徒が増えている様子が伺えます。

(16) なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。

- ☐ 当てはまる
 ☐ どちらかと言えば当てはまる
☐ どちらかと言えば当てはまらない
 ☐ 当てはまらない

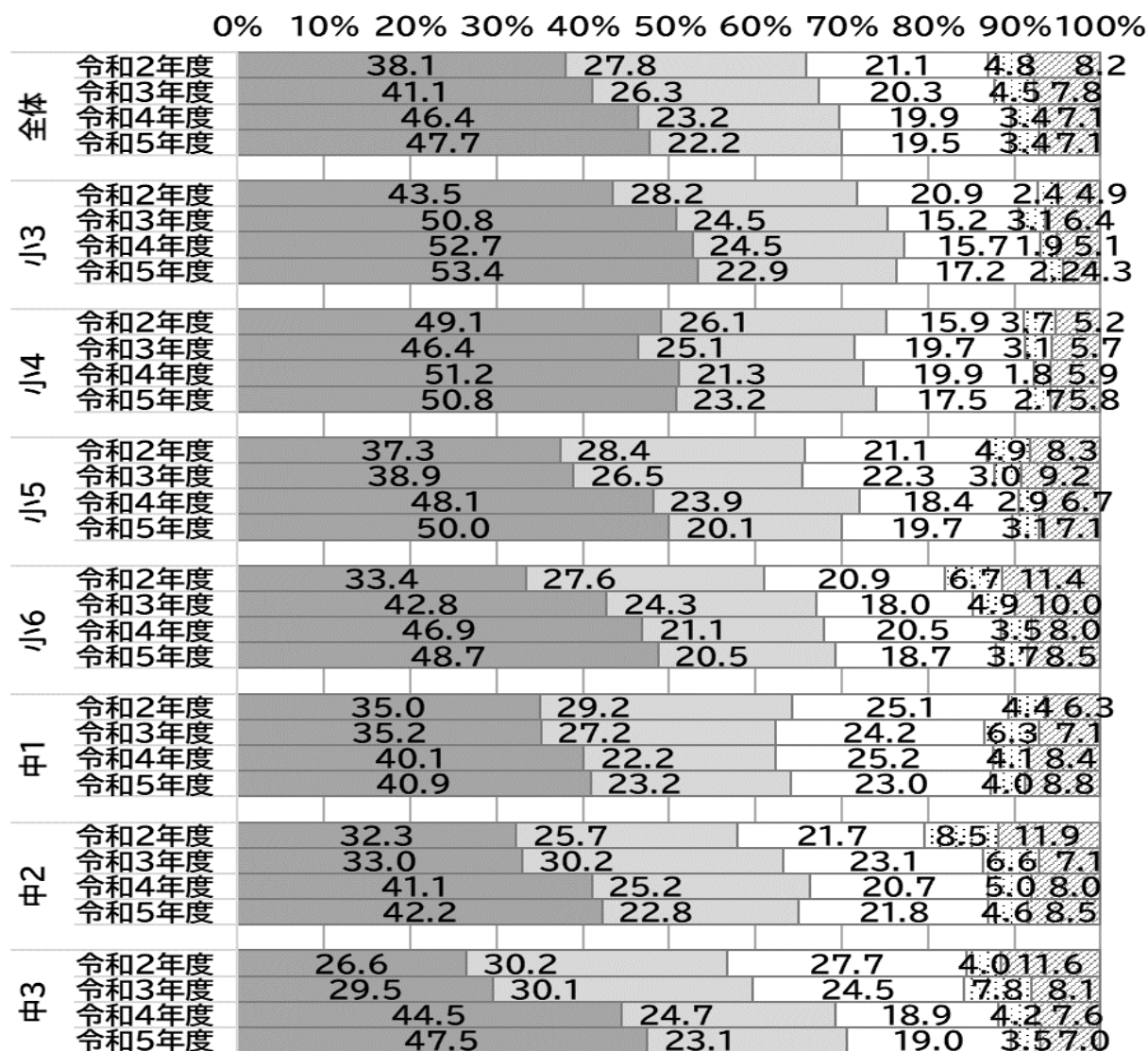


※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、84.7%（前年比+0.1ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、15.3%（前年度比-0.1ポイント）でした。
- 学年別では、特に小学校3・5年生の「当てはまる」の割合が、それぞれ前年比+3.5ポイント、+4.8ポイントと大きく増加しました。

(17) 自分には、よいところ(長所)があると思う。

- ☒ 当てはまる
 ☐ どちらかと言えば当てはまる
 ☐ どちらかと言えば当てはまらない
 ☐ 当てはまらない
 ☐ どちらともいえない

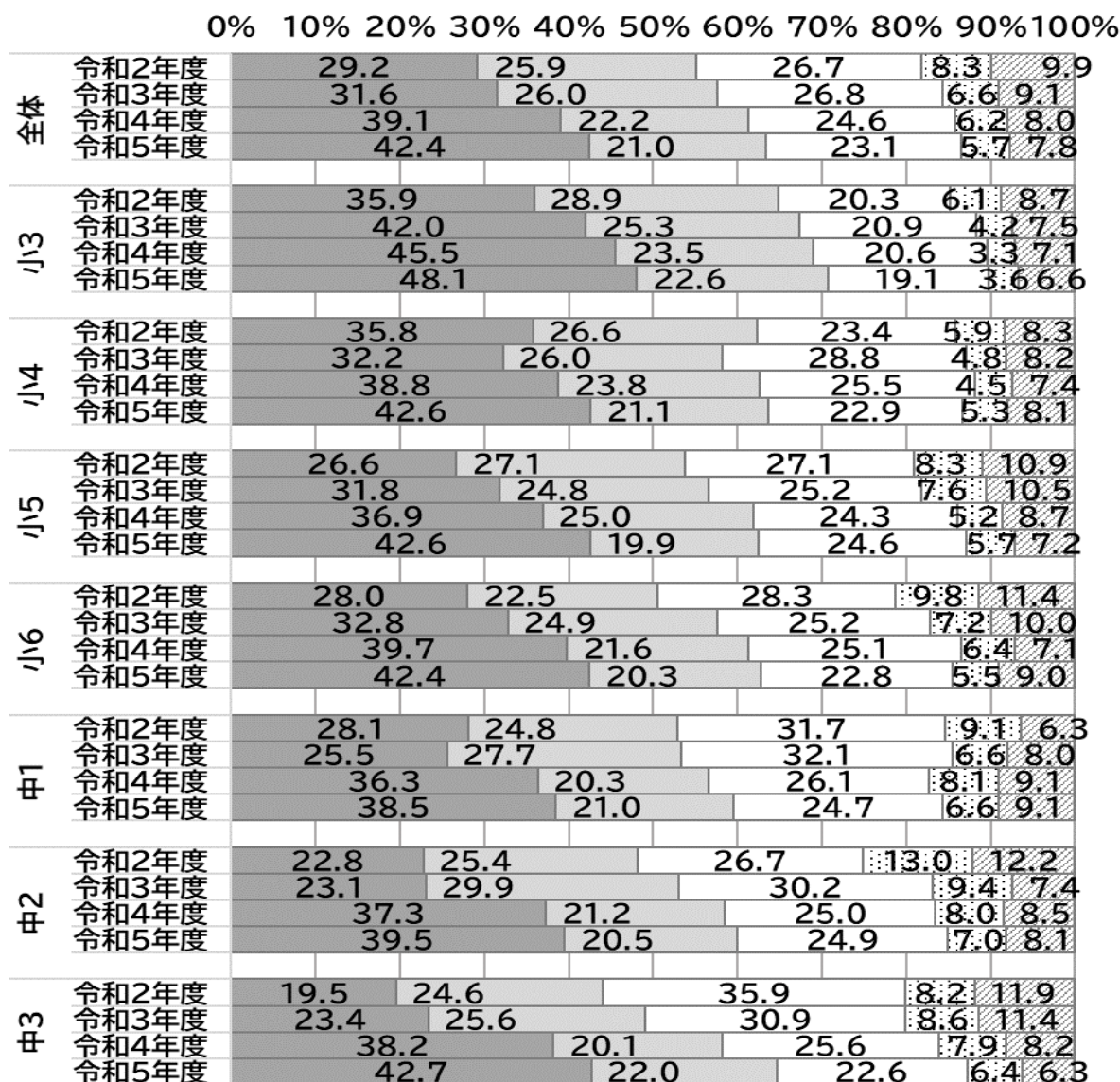


※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、69.9%（前年比+0.3ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、10.5%（前年度比±0ポイント）でした。
- 学年別では、特に中学校3年生の「当てはまる」の割合が、前年比+3.0ポイントと大きく増加しました。

(18) 自分は、周りの人と同じくらい価値のある人間だと思う。

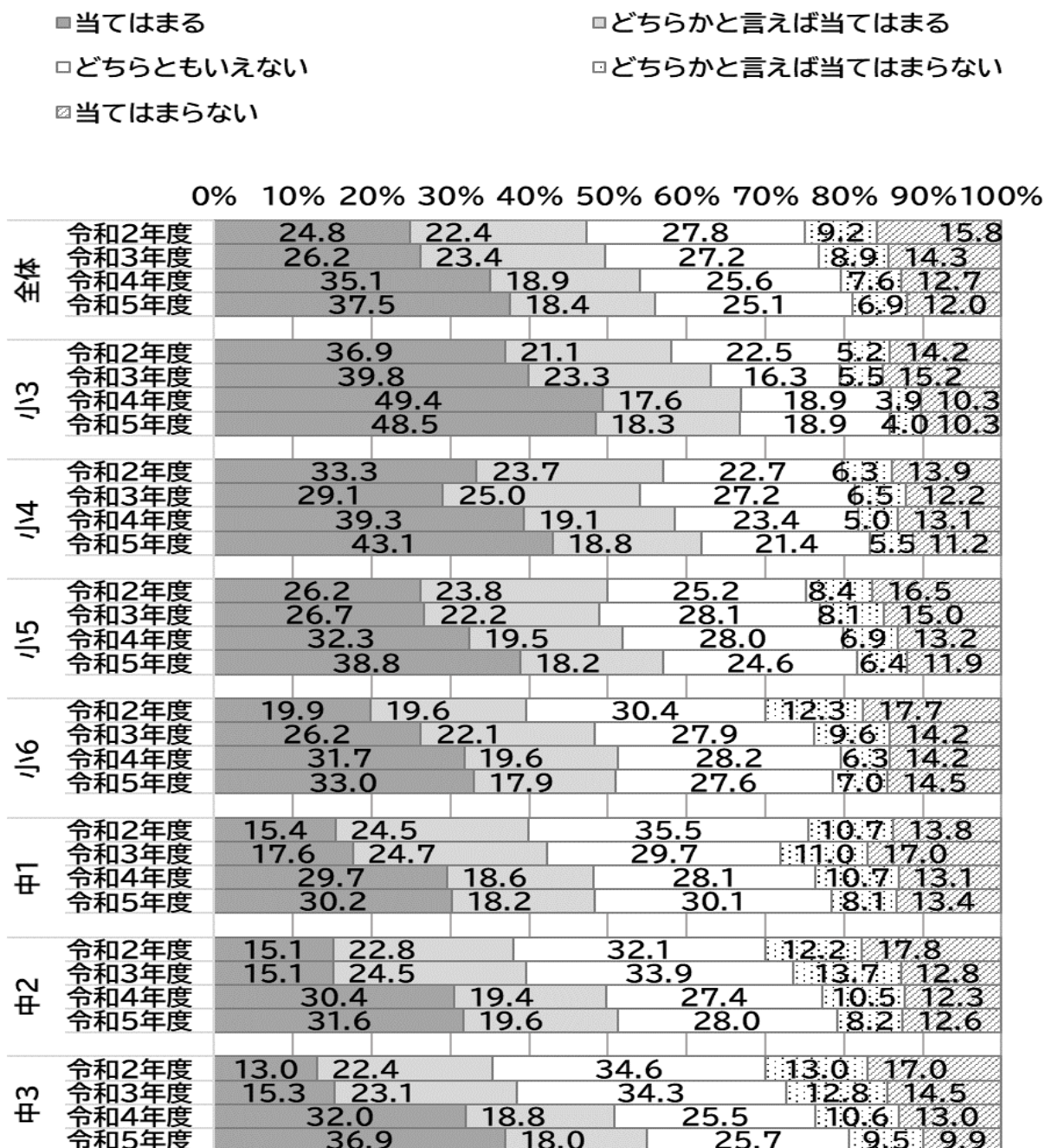
- ☒ 当てはまる
 ☐ どちらかと言えば当てはまる
☐ どちらともいえない
 ☐ どちらかと言えば当てはまらない
☒ 当てはまらない



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、63.4%（前年比+2.1ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、13.5%（前年度比-0.7ポイント）でした。
- 全ての学年で、「当てはまる」の割合が昨年度より増加しました。学年別では、特に小学校4・5年生、中学校3年生で、それぞれ前年比+3.8ポイント、+5.7ポイント、+4.5ポイントと大きく増加しました。

(19) 自分のことを好きだと思う。

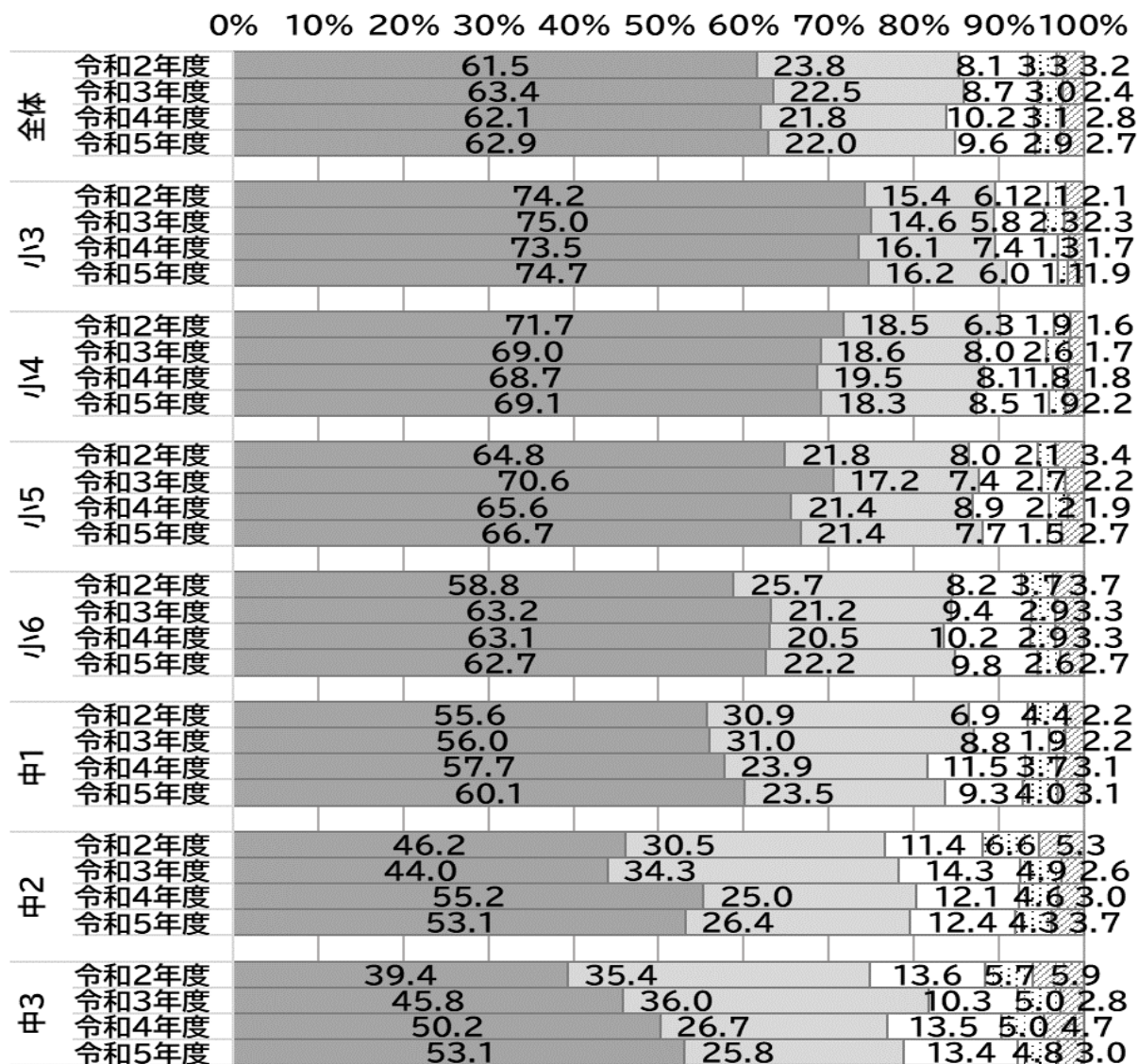


※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」）の割合は、55.9%（前年比+1.9ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかといえば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、18.9%（前年度比-1.4ポイント）でした。
- 学年別では、特に小学校4・5年生、中学校3年生の「当てはまる」の割合が、それぞれ前年比+3.8ポイント、+6.5ポイント、+4.9ポイントと大きく増加しました。

(20) 難しいことでも、努力を続ければ、いつかできると思う。

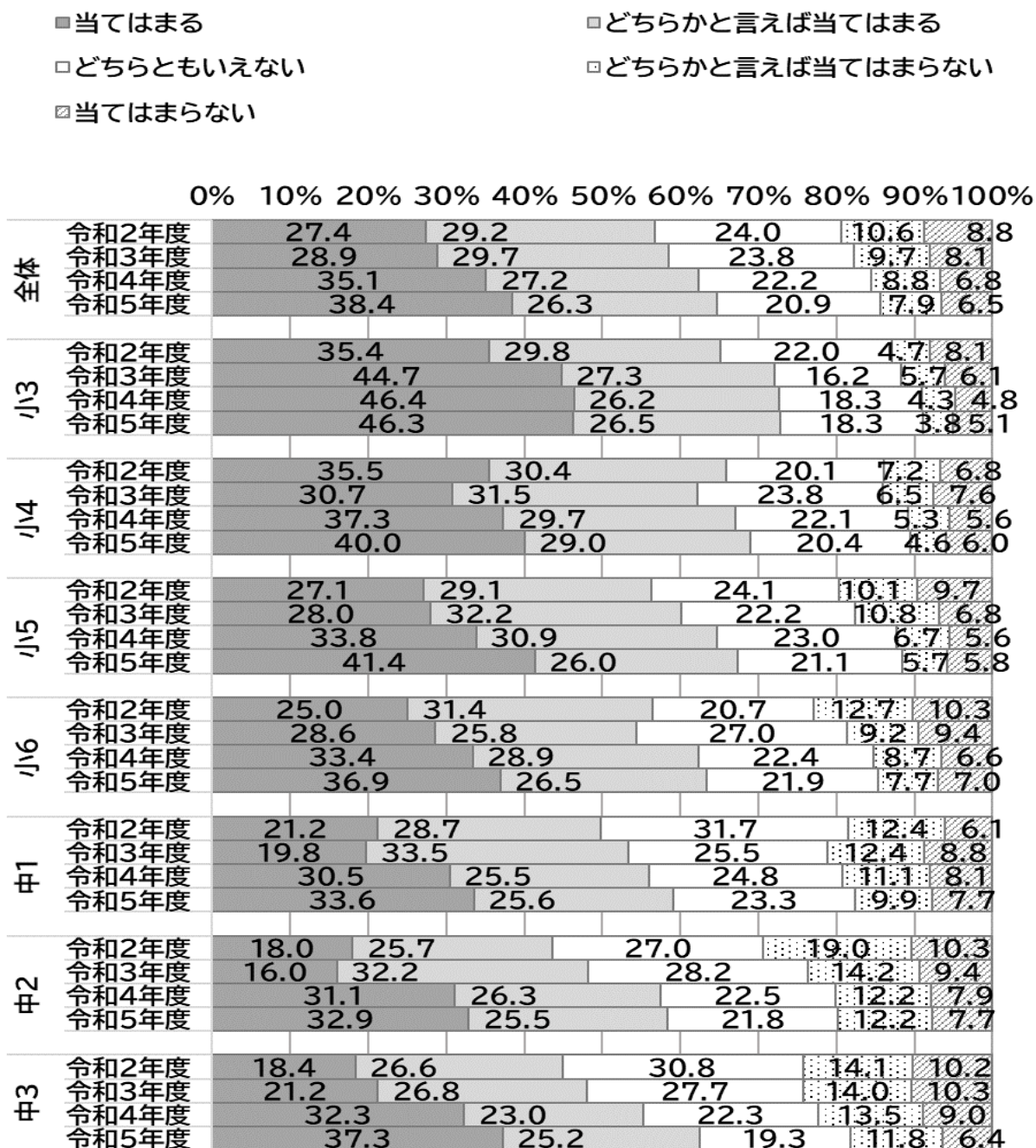
- ☒ 当てはまる
 ☐ どちらかと言えば当てはまる
 ☐ どちらともいえない
 ☐ 当てはまらない



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、84.9%（前年比+1.0ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、5.6%（前年度比-0.3ポイント）でした。
- 中学校3年生では、「当てはまる」の割合が令和2年度から着実に増加しています。

(21) 自分は、物事を周りの人と同じくらいうまくやれると思う。

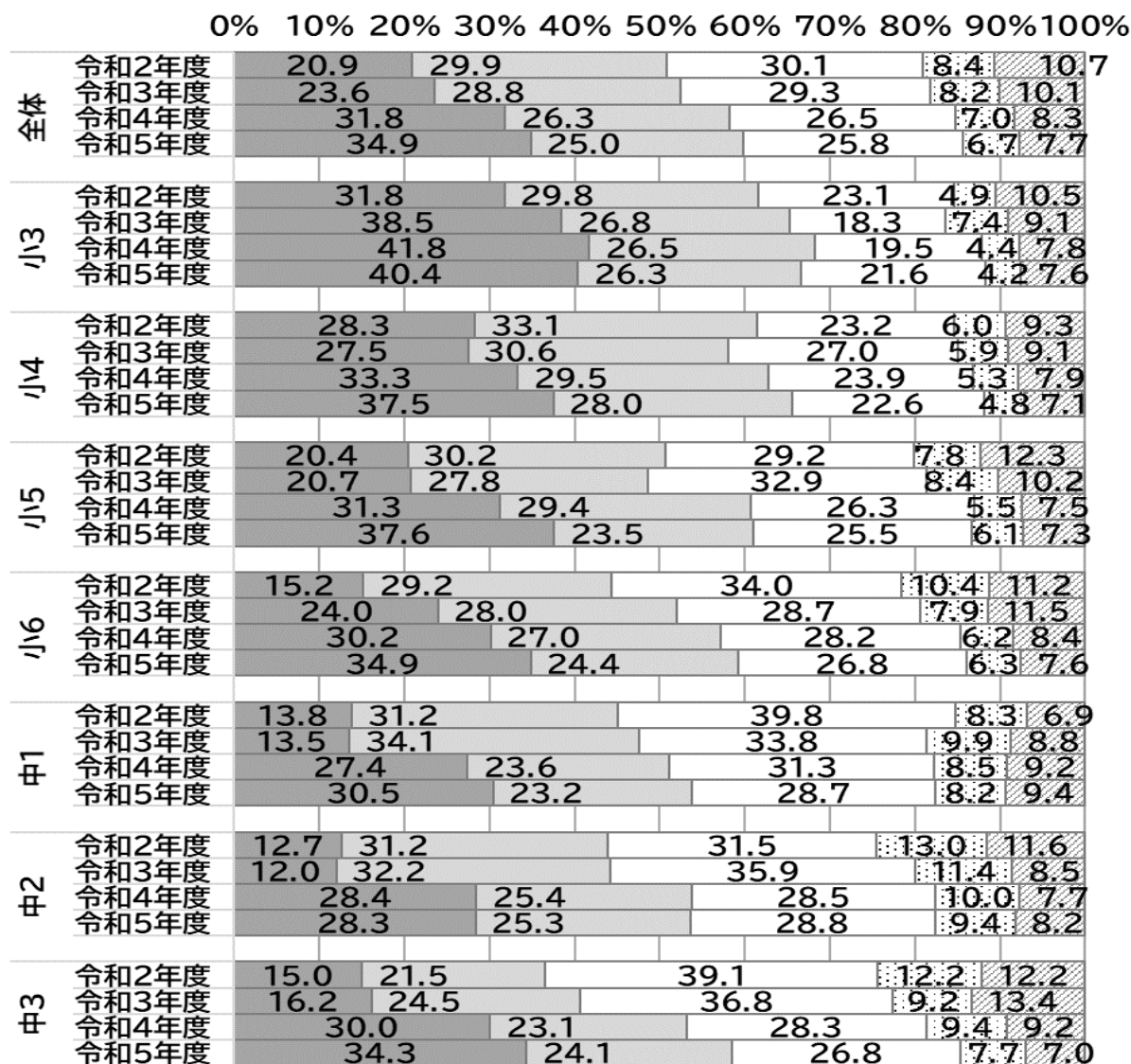


※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、64.7%（前年比+2.4ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、14.4%（前年度比-1.2ポイント）でした。
- 全ての学年で、肯定的な回答の割合が昨年度より増加しました。学年別では、特に小学校5・6年生、中学校1・3年生の「当てはまる」の割合が、それぞれ前年比+7.6ポイント、+3.5ポイント、+3.1ポイント、+5.0ポイントと大きく増加しました。

(22) 自分は、人の役に立っていると思う。

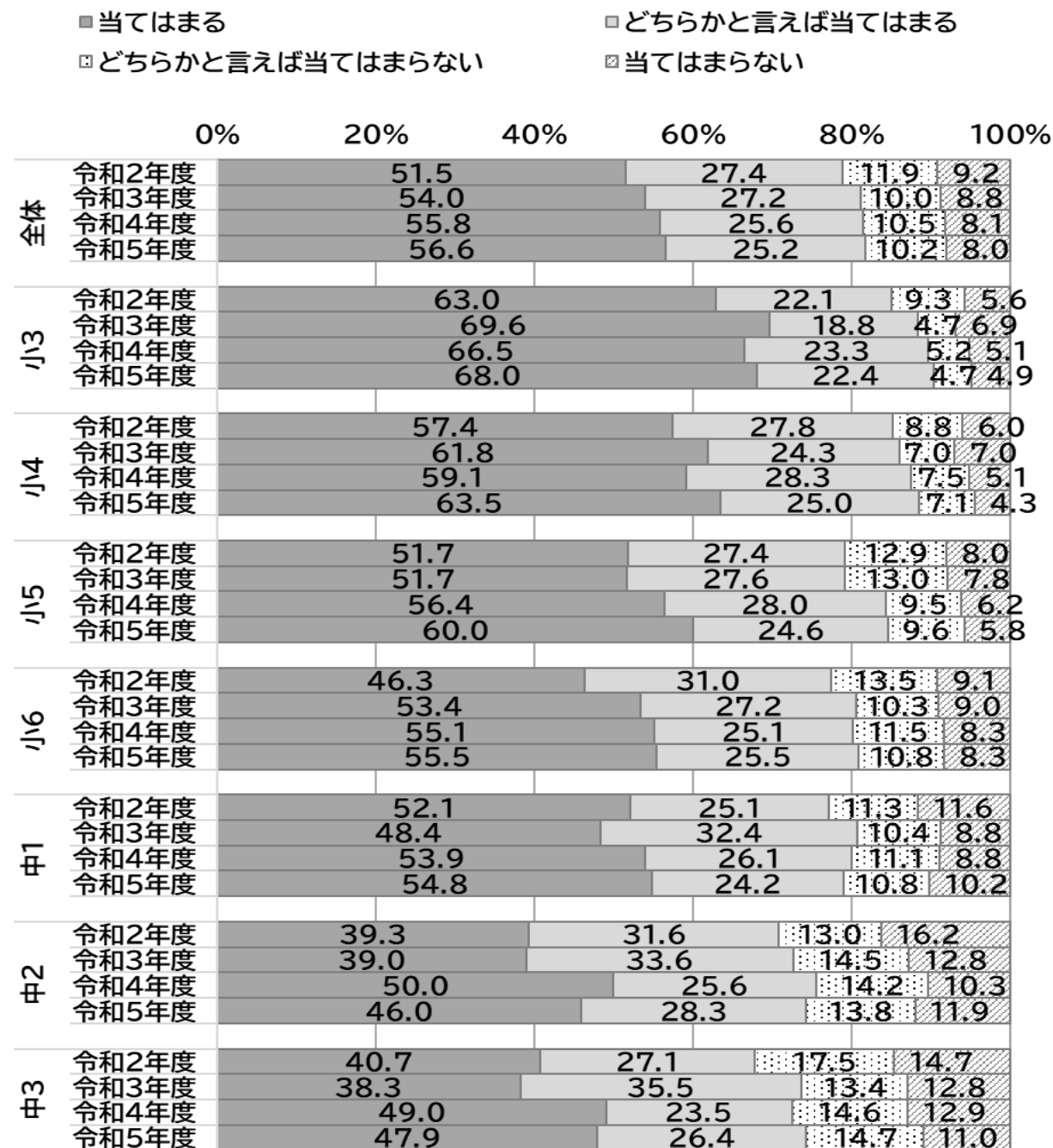
- ☒ 当てはまる
 ☐ どちらかと言えば当てはまる
 ☐ どちらともいえない
 ☐ どちらかと言えば当てはまらない
 ☒ 当てはまらない



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、59.9%（前年比+1.8ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、14.4%（前年度比-0.9ポイント）でした。
- 学年別では特に、小学校4年生から6年生、中学校1・3年生で「当てはまる」の割合が、それぞれ、前年比+4.2ポイント、+6.3ポイント、+4.7ポイント、+3.1ポイント、+4.3ポイントと大きく増加しました。

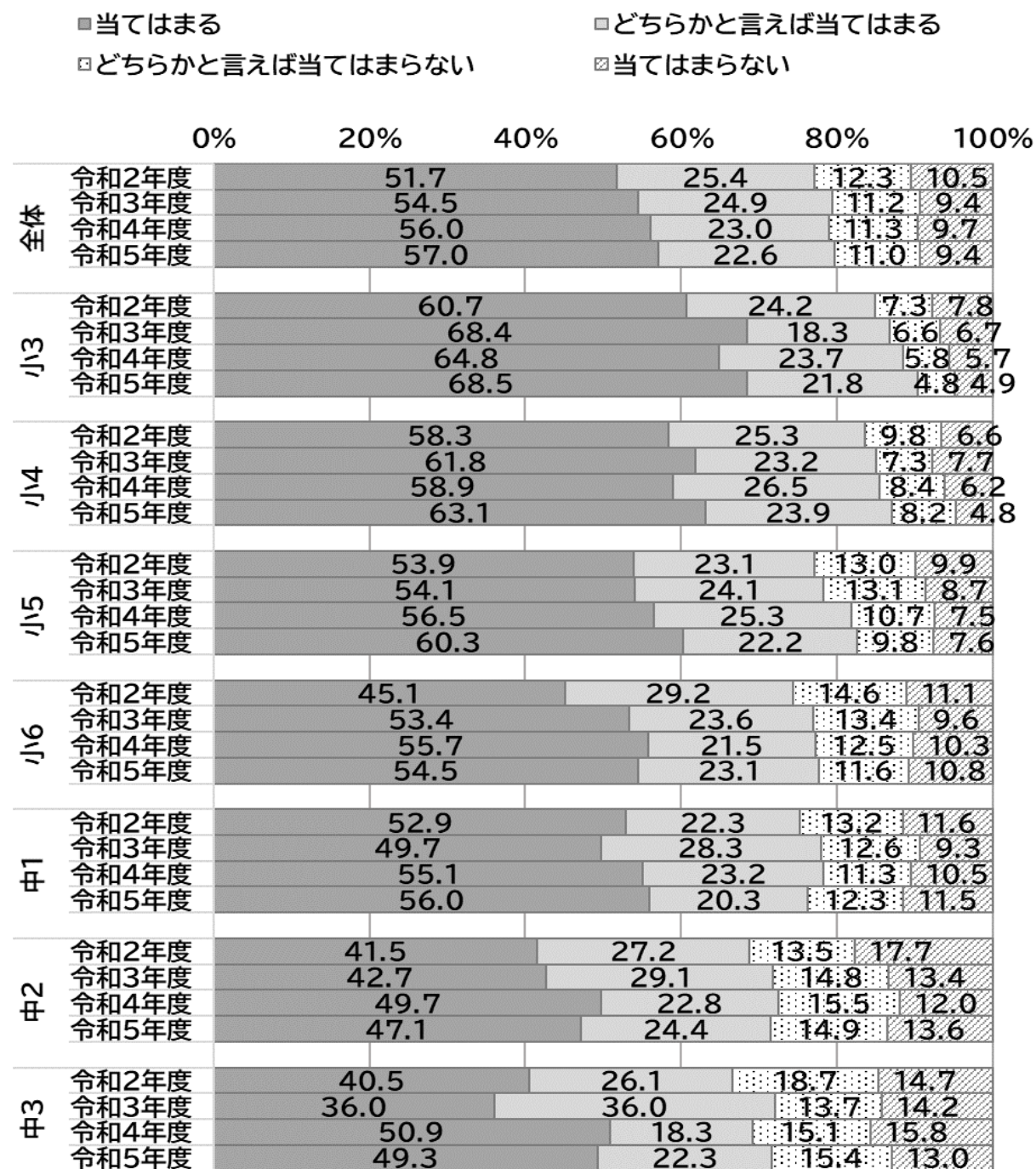
(23) 中学生（小学生）や園児と交流することは、楽しみだ。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、81.8%（前年比+0.4ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、18.2%（前年度比-0.4ポイント）でした。
- 学年別では特に小学校4・5年生で「当てはまる」の割合が、それぞれ前年比+4.4ポイント、+3.6ポイントと大きく増加しました。

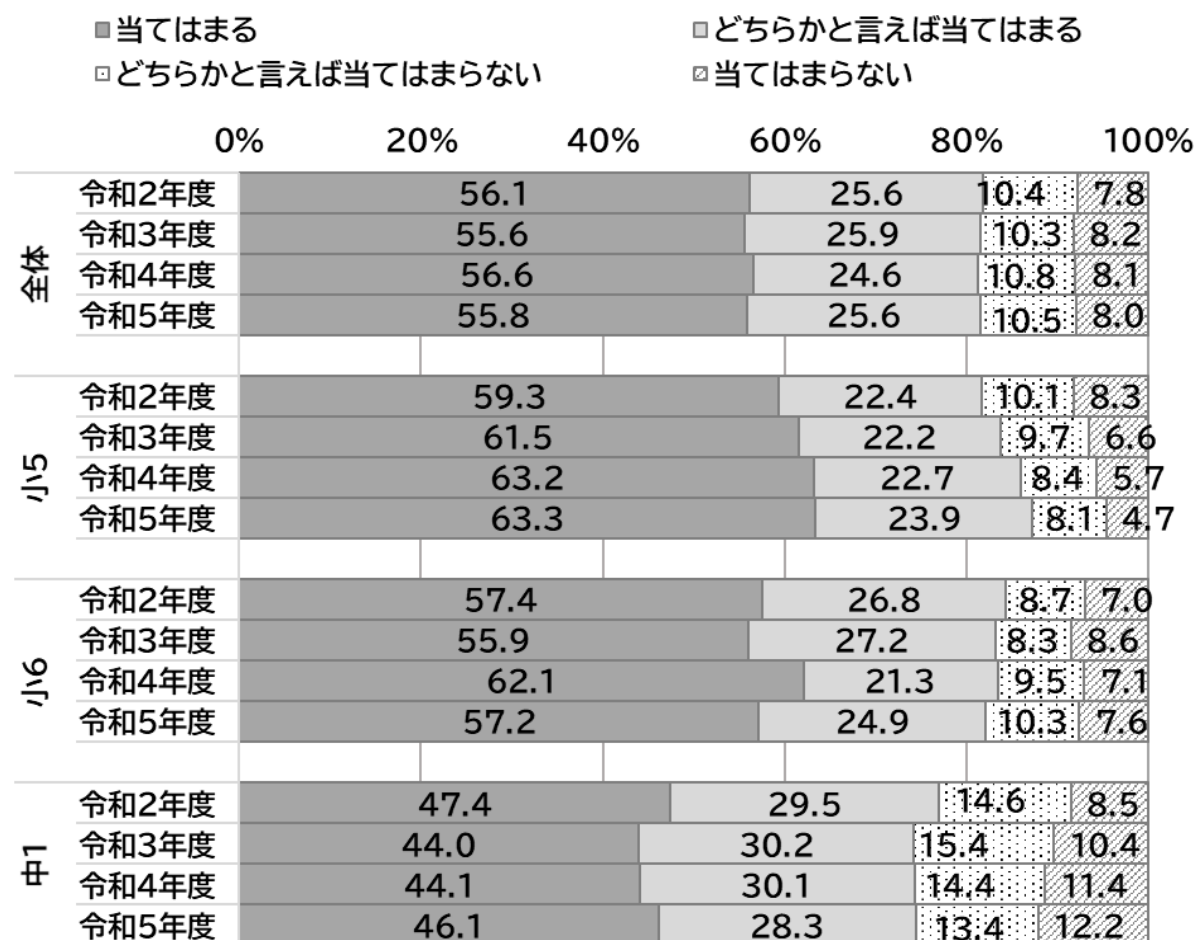
(24) 中学生（小学生）や園児と交流してみたい。



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、79.6%（前年比+0.6ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、20.4%（前年度比-0.6ポイント）でした。
- 学年別では、特に小学校3年生から5年生で「当てはまる」の割合が、それぞれ前年比+3.7ポイント、+4.2ポイント、+3.8ポイントと大きく増加しました。

(25) 中学校へ進学することは楽しみだ（楽しみだった）。（対象：小5、小6、中1）



※グラフの数値は、小数第二位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

- 全体では、肯定的な回答（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」）の割合は、81.4%（前年比+0.2ポイント）でした。否定的な回答（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」）の割合は、18.5%（前年比-0.4ポイント）でした。
- 学年別では、特に小学校5年生で肯定的な回答の割合が、着実に上昇しています。

第3部 資料

1 電子回答の内容

本アンケートは、草加市電子申請システムを活用して実施し、児童生徒はタブレット端末から直接回答しました。

(1) 回答画面

草加市

でんしんせいページ
電子申請ページ

施設等の予約は、
予約手続表 を選択

様式管理

プレビュー 子ども教育の連携に関するアンケート【小学校3年生】

子ども教育の連携に関するアンケート【小学校3年生】

子ども教育の連携に関するアンケート【小学校3年生】

1 みんなのべん強や生活の ようすなどについて、答えてください。
2 しつもんについて、当てはまるものや、あなたの考えに一番近いものをえらんでください。

学校名をえらんでください。 必須

選択してください

学級をえらんでください。 必須

3年1組

3年2組

3年3組

3年4組

3年5組

3年6組

選択解除

つぎのことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものをえらんでください。

(1) べん強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(2) べん強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(3) 学んだことを、ふだんの生活で生かそうとしている。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(4) 自分の気持ちや考えを、あいてに つたえるようにしている。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(5) いじめをゆるさないで、思いやりをもって人と せつするようになっている。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(6) 人に めいわくをかけないように、やりたいことでも、がまんできる。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(7) あいさつや へんじをしっかりとするようにしている。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(8) 学校のきまりや、家の やくそくを まもることができる。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(9) ほげ毎日、早ね早おきをして、朝ごはんを食べている。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(10) きめられた時間を まもることができる。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(11) めあてや目ひようをもって 学しゅうや うんどうに とり組んでいる。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(12) すぐにあきらめずに、ものごとに とり組むようにしている。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(13) しゅぎょうなどを通して、草加について学ぶことは楽しい。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(14) 草加のまちがすきだ。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(15) 自分がすむ 地いきや、草加のやくに立つことをしてみたい。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

(16) なりたい しよくぎょうや しょう来の ゆめがあったり、目ひようにする人がいたりする。 必須

当てはまる

どちらかといえば当てはまる

どちらかといえば当てはまらない

当てはまらない

選択解除

つぎのことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものをえらんでください。

(17) 自分には、よいところ(長しよ)があると思う。 必須

当てはまる

- ☐ どちらかといえば当てはまる
☐ どちらとも言いえない
☐ どちらかといえば当てはまらない
☐ 当てはまらない

選択解除

(18) 自分は、まわりの人と同じくらい、かちのある人間だと思う。 **必須**

- ☒ 当てはまる
☐ どちらかといえば当てはまる
☐ どちらとも言いえない
☐ どちらかといえば当てはまらない
☐ 当てはまらない

選択解除

(19) 自分のことをすきだと思う。 **必須**

- ☒ 当てはまる
☐ どちらかといえば当てはまる
☐ どちらとも言いえない
☐ どちらかといえば当てはまらない
☐ 当てはまらない

選択解除

(20) むずかしいことでも、どりよくをつづければ、いつかできると思う。 **必須**

- ☒ 当てはまる
☐ どちらかといえば当てはまる
☐ どちらとも言いえない
☐ どちらかといえば当てはまらない
☐ 当てはまらない

選択解除

(21) 自分は、ものごとを まわりの人と同じくらいうまくやれると思う。 **必須**

- ☒ 当てはまる
☐ どちらかといえば当てはまる
☐ どちらとも言いえない
☐ どちらかといえば当てはまらない
☐ 当てはまらない

選択解除

(22) 自分は、人のやくに立っていると思う。 **必須**

- ☒ 当てはまる
☐ どちらかといえば当てはまる
☐ どちらとも言いえない
☐ どちらかといえば当てはまらない
☐ 当てはまらない

選択解除

つぎのことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。当てはまるものをえらんでください。

(23) 中学生や国じと交りゆうすることは、楽しみだ。 **必須**

- ☒ 当てはまる
☐ どちらかといえば当てはまる
☐ どちらかといえば当てはまらない
☐ 当てはまらない

選択解除

(24) 中学生や国じと交りゆうしてみたい。 **必須**

- ☒ 当てはまる
☐ どちらかといえば当てはまる
☐ どちらかといえば当てはまらない
☐ 当てはまらない

選択解除

ご回答ありがとうございました。

「確認へ進む」を選んだあと、必ず「申し込み」を押してください。

閉じる

(2) 設問内容

設問	学年	質問文
(1)	小3	べん強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。
	小4～	勉強や読書を通して、いろいろなことを知りたい。
(2)	小3	べん強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。
	小4～	勉強や読書を通して、新しいことを学ぶのは楽しい。
(3)	小3～	学んだことを、ふだんの生活で生かそうとしている。
	中1～	学んだことを、普段の生活で生かそうとしている。
(4)	小3	自分の気持ちや考えを、あいてに つたえるようにしている。
	小4	自分の気持ちや考えを、相手につたえるようにしている。
	小5～	自分の気持ちや考えを、相手に伝えるようにしている。
(5)	小3～	いじめをゆるさないで、思いやりをもって人と せつするようにしている。
	小6～	いじめを許さないで、思いやりをもって人と接するようにしている。
(6)	小3～	人に めいわくをかけないように、やりたいことでも、がまんできる。
	小6	人に迷わくをかけないように、やりたいことでも、がまんできる。
	中1～	人に迷惑をかけないように、やりたいことでも、がまんできる。
(7)	小3	あいさつや へんじをしっかりとするようにしている。
	小4～	あいさつや返事をしっかりとするようにしている。
(8)	小3	学校のきまりや、家の やくそくを まもることができる。
	小4	学校のきまりや、家のやくそくを守ることができる。

設問	学年	質問文
	小5～	学校のきまりや、家の約束を守ることができる。
(9)	小3～	ほぼ毎日、早ね早おきをして、朝ごはんを食べている。
	中1～	ほぼ毎日、早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。
(10)	小3	きめられた時間を まもることができる。
	小4～	決められた時間を守ることができる。
(11)	小3	めあてや目ひょうをもって 学しゅうや うんどうに とり組んでいる。
	小4	めあてや目ひょうをもって学習や運動に取り組んでいる。
	小5～	めあてや目標をもって学習や運動に取り組んでいる。
(12)	小3	すぐにあきらめずに、ものごとに とり組むようにしている。
	小4～	すぐにあきらめずに、ものごとに取り組むようにしている。
(13)	小3	じゅぎょうなどを通して、草加について学ぶことは楽しい。
	小4～	じゅ業などを通して、草加について学ぶことは楽しい。
	小6～	授業などを通して、草加について学ぶことは楽しい。
(14)	小3～	草加のまちがすきだ。
	小5～	草加のまちが好きだ。
(15)	小3	自分がすむ 地いきや、草加のやくに立つことをしてみたい。
	小4～	自分が住む地いきや、草加の役に立つことをしてみたい。
	中1～	自分が住む地域や、草加の役に立つことをしてみたい。
(16)	小3	なりたい しょくぎょうや しょう来の ゆめがあったり、目ひょうにする人がいたりする。
	小4	なりたいしょく業やしょう来のゆめがあったり、目ひょうにする人がいたりする。
	小5	なりたいしょく業やしょう来のゆめがあったり、目標にする人がいたりする。
	小6	なりたい職業やしょう来の夢があったり、目標にする人がいたりする。
	中1～	なりたい職業や将来の夢があったり、目標にする人がいたりする。
(17)	小3	自分には、よいところ(長しよ)があると思う。
	小4～	自分には、よいところ(長所)があると思う。
(18)	小3～	自分は、まわりの人と同じくらい、かちのある人間だと思う。
	小5	自分は、周りの人と同じくらい、かちのある人間だと思う。
	小6	自分は、周りの人と同じくらい、価ちのある人間だと思う。
	中1～	自分は、周りの人と同じくらい、価値のある人間だと思う。
(19)	小3～	自分のことをすきだと思う。
	小5～	自分のことを好きだと思う。
(20)	小3～	むずかしいことでも、どりよくをつづければ、いつかできると思う。
	小5～	むずかしいことでも、努力を続ければ、いつかできると思う。
	中1～	難しいことでも、努力を続ければ、いつかできると思う。
(21)	小3	自分は、ものごとを まわりの人と同じくらいうまくやれると思う。
	小4	自分は、物事をまわりの人と同じくらいうまくやれると思う。
	小5～	自分は、物事を周りの人と同じくらいうまくやれると思う。
(22)	小3	自分は、人のやくに立っていると思う。

設問	学年	質問文
	小4～	自分は、人の役に立っていると思う。
(23)	小3	中学生や園じと交りゅうすることは、楽しみだ。
	小4	中学生や園じと交流することは、楽しみだ。
	小5	中学生や園児と交流することは、楽しみだ。
	小6	中学生や園児と交流することは、楽しみだ。
	中1	小学生や園児と交流することは、楽しみだ。
	中2	小学生や園児と交流することは、楽しみだ。
	中3	小学生や園児と交流することは、楽しみだ。
(24)	小5	中学生になったら、小学生や園児と交流してみたい。
	小6	中学生になったら、小学生や園児と交流してみたい。
	小3	中学生や園じと交りゅうしてみたい。
	小4	中学生や園じと交流してみたい。
	中1	小学生や園児と交流してみたい。
	中2	小学生や園児と交流してみたい。
	中3	小学生や園児と交流してみたい。
(25)	小5	中学校へ進学することは楽しみだ。
	小6	中学校へ進学することは楽しみだ。
	中1	小学校6年生のとき、中学校へ進学することが楽しみだった。

令和5年度草加市子ども教育の連携に関する児童生徒アンケート報告書

発行年月 令和6年2月

発 行 草加市教育委員会 子ども教育連携推進室

〒340-0015 埼玉県草加市高砂2丁目1番7号 ぶぎん草加ビル4階

電話：048-922-3494（直通）
